

3. 利用者ニーズ

1) 利用者アンケートの概要

①調査目的

平日1日の名鉄バス(3路線)、i-バス及び生活交通バス(全コース)の全利用者を対象に、市内公共交通の利用実態やバス利用に関する問題点・課題などを把握することを目的として、アンケートを実施した。

②調査対象者

名鉄バス(市補助路線として運行する光明寺線、市内路線バスの中で最も利用者の多い起線、平成21年度に利用者が大きく減少した一宮川島線(一宮駅～岩倉駅間))の3路線と、i-バス及び生活交通バス(全コース)の平日1日の全便利用者を対象。

③調査実施期間

アンケート配布日 : 平成23年9月27日(火)

アンケート回収日(締切日) : 平成23年10月7日(金)

④調査内容

- ・バス利用実態(利用バス種別、乗り継ぎの有無、バス停端末交通手段及び所要時間、利用頻度、目的、行き帰りの利用状況など)について
- ・バスの利便性を高める対応策について
- ・バス利用の満足度と改善内容について
- ・回答者の属性について 等

⑤調査方法と回収率

バス利用者に手渡しにてアンケート調査票を配布し、郵送にて回収した。

アンケート調査票は1人1通の配布とした。

配布数 : 4,229票、回収票数 : 1,357票、回収率 : 32.1%

路線	系統	日平均乗車人員	配布数	回収数	回収率
名鉄バス	光明寺線	178	168	86	51.2%
	起線	1,926	1,902	603	31.7%
	一宮川島線	1,829	1,629	248	15.2%
	路線バス3路線計	3,933	3,699	937	25.3%
i-バス	一宮コース左回り	95	131	82	36.3%
	一宮コース右回り	99	95		
	尾西南コース	49	39	19	48.7%
	尾西北コース	24	59	18	30.5%
	木曾川・北方コース	31	43	19	44.2%
	i-バス計	298	367	138	37.6%
生活交通バス	千秋ふれあいバス	48	67	36	53.7%
	ニコニコふれあいバス	60	96	30	31.3%
	生活交通バス計	108	163	66	40.5%
不明				216	
合計		4,339	4,229	1,357	32.1%

*アンケートは片側利用時のみの配布のため、平成22年度実績より路線バス、i-バス及び生活交通バスとも、目安として利用者総数に1/2を乗じて日平均乗車人員とした

2) 結果

①アンケートを受け取った際の交通手段と定期の保有、その前後の乗り継ぎについて（配布者全員対象）

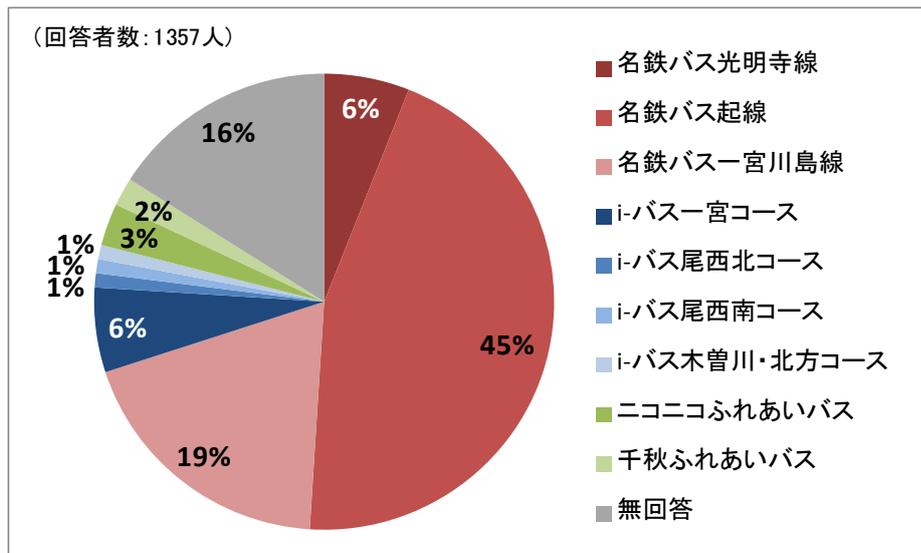
問 1 あなたがアンケートを受け取った際に利用していたバスの種類、乗車・降車バス停名及び定期券の保有に該当する番号1つに○をつけてください。
 また、鉄道又は他のバス路線から乗り継いだ方、鉄道又はバスへ乗り継ぐ方は、乗り継ぎを行った交通手段と鉄道駅又はバス停名をおしえてください。市外からの移動又は市外へ移動される方は一宮市内の移動についておしえてください。

	<鉄道・バスから乗り継ぎされた方>	アンケートを受け取った際の交通手段	<鉄道・バスへ乗り継ぎされた方>
	アンケートを受け取る前の交通手段		アンケートを受け取った後の交通手段
利用交通手段	1. JR東海道本線 2. 名鉄名古屋本線 3. 名鉄尾西線 4. 名鉄犬山線 5. 名鉄バス 6. i-バス一宮コース 7. i-バス尾西北コース 8. i-バス尾西南コース 9. i-バス木曽川・北方コース 10. ニコニコふれあいバス 11. 千秋ふれあいバス	1. 名鉄バス光明寺線 2. 名鉄バス起線 3. 名鉄バス一宮川島線 4. i-バス一宮コース 5. i-バス尾西北コース 6. i-バス尾西南コース 7. i-バス木曽川・北方コース 8. ニコニコふれあいバス 9. 千秋ふれあいバス	1. JR東海道本線 2. 名鉄名古屋本線 3. 名鉄尾西線 4. 名鉄犬山線 5. 名鉄バス 6. i-バス一宮コース 7. i-バス尾西北コース 8. i-バス尾西南コース 9. i-バス木曽川・北方コース 10. ニコニコふれあいバス 11. 千秋ふれあいバス
乗車	() 駅・バス停	() バス停	() 駅・バス停
降車	() 駅・バス停	() バス停	() 駅・バス停
定期券の保有	1. 通勤定期を持っている 2. 通学定期を持っている 3. 持っていない	1. 通勤定期を持っている 2. 通学定期を持っている 3. 持っていない	1. 通勤定期を持っている 2. 通学定期を持っている 3. 持っていない

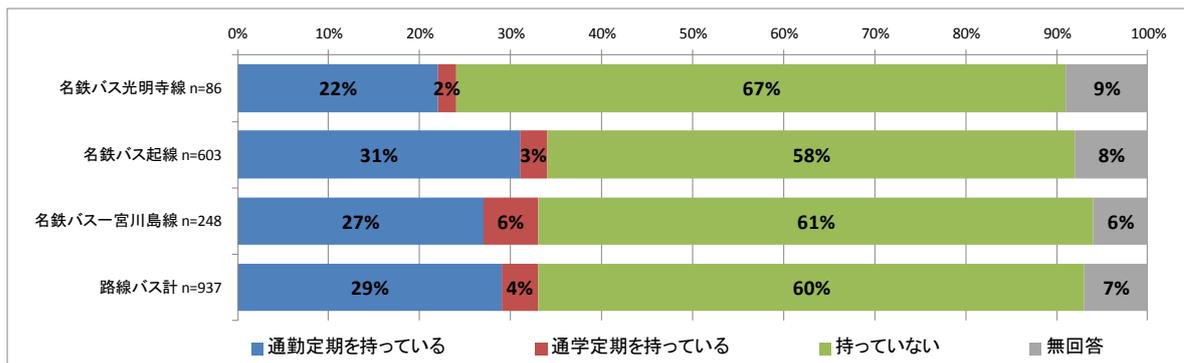
○アンケートを受け取った際の交通手段は、「名鉄バス」が全体の70%を占めており、特に「起線」が占める割合が45%と高い。その他のバス利用では、「i-バス」が9%、「生活交通バス」が5%となっている。

○名鉄バスの定期券の保有状況は、3路線平均で「通勤定期」29%、「通学定期」4%の計33%となっている。光明寺線では「通勤定期」22%、「通学定期」2%と他の2路線と比較して低い。

▼交通手段



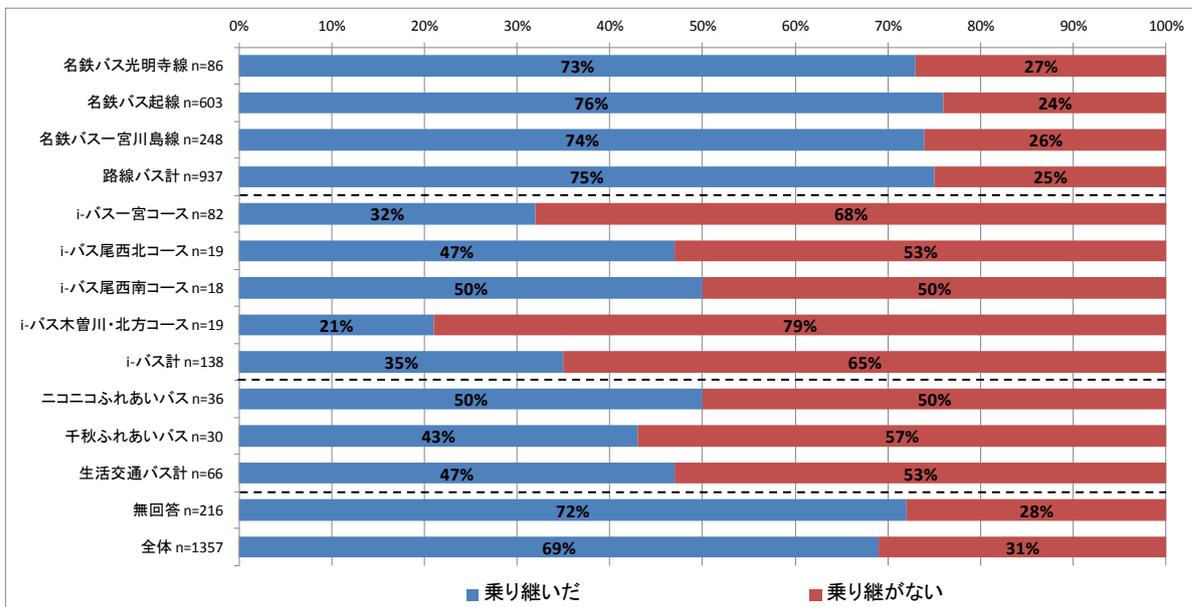
▼定期券の保有



i. 乗り継ぎの有無について

○アンケートを受け取った際のバス利用前後の乗り継ぎの有無は、名鉄バスの3路線平均75%が「乗り継いだ」としている。他のバス路線の乗り継ぎ利用は、i-バスの4コース平均で35%、生活交通バスの2路線平均で47%となっており、名鉄バス利用者の乗り継ぎ利用が高いことがわかる。

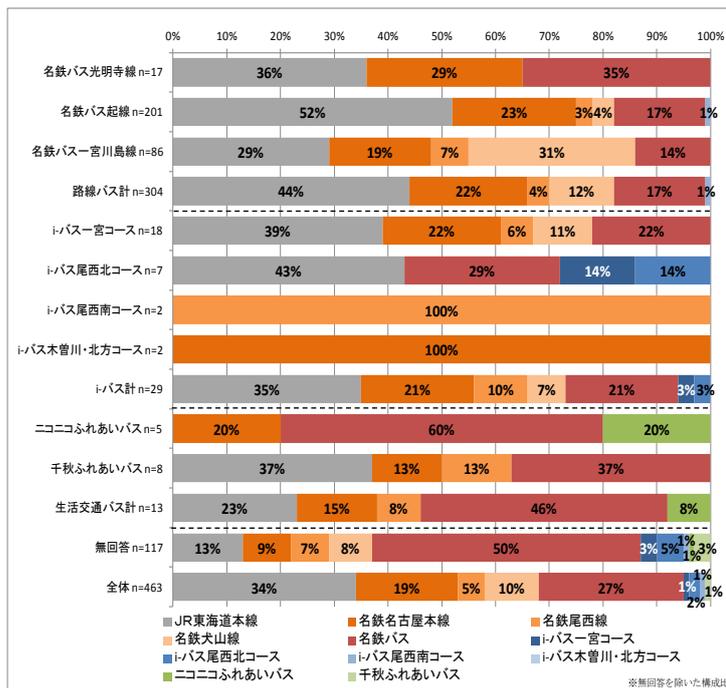
▼乗り継ぎの有無



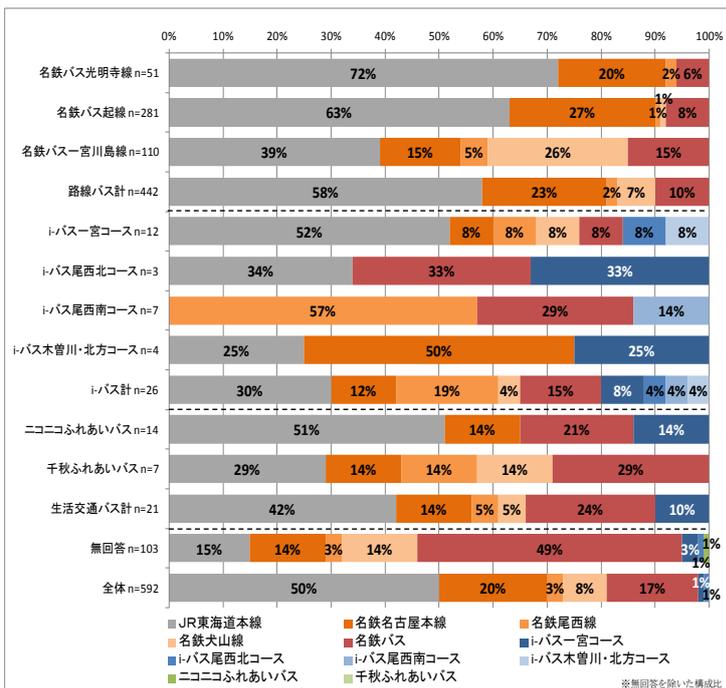
ii. アンケートを受け取った前後の交通手段について

○アンケートを受け取る前の交通手段は、名鉄バスでは「鉄道利用」が65~86%となっており、光明寺線及び起線は「JR 東海道本線」が36~52%と最も多いが、一宮川島線（一宮駅～岩倉駅間）では「名鉄犬山線」が31%と最も多い。
 ○アンケートを受け取った後の交通手段は、前の交通手段と同様、名鉄バスでは「鉄道利用」が85~94%となっており、3路線とも「JR 東海道線」が39~72%と最も多い。

▼アンケートを受け取る前の交通手段



▼アンケートを受け取った後の交通手段



②自宅と利用バス停間の交通手段と所要時間について（配布者全員対象）

問 2 問1でお答えいただいた一宮市内の移動について、一宮市内にお住まいの方は、自宅と利用バス停間の交通手段と所要時間、一宮市外にお住まいの方は、利用バス停と目的施設間の交通手段と所要時間をおしえてください。それぞれ該当する番号1つに○をつけてください。

<交通手段>

- | | | |
|--------|-----------|--------|
| 1. 自動車 | 2. 原付・バイク | 3. 自転車 |
| 4. 徒歩 | 5. その他（ ） | |

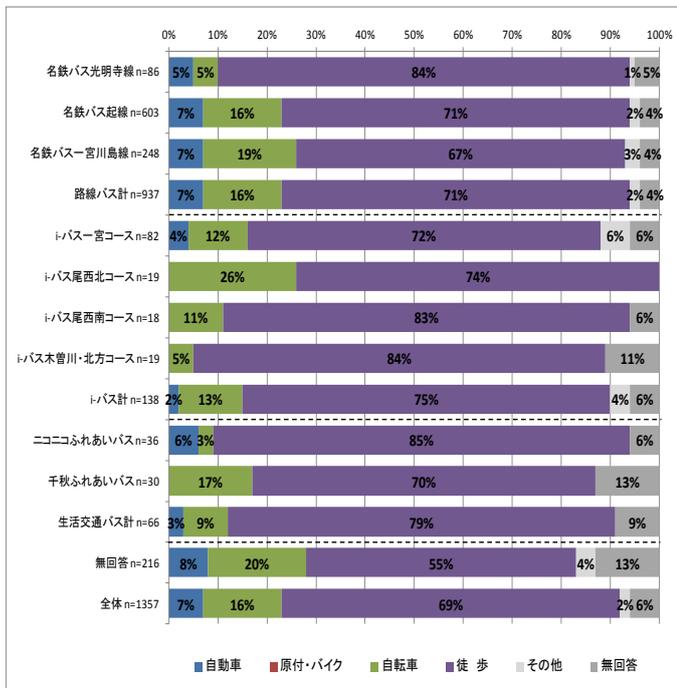
<所要時間>

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 5分未満 | 2. 5分以上～10分未満 | 3. 10分以上～20分未満 |
| 4. 20分以上～30分未満 | 5. 30分以上～60分未満 | 6. 60分以上 |
| 7. その他（ ） | | |

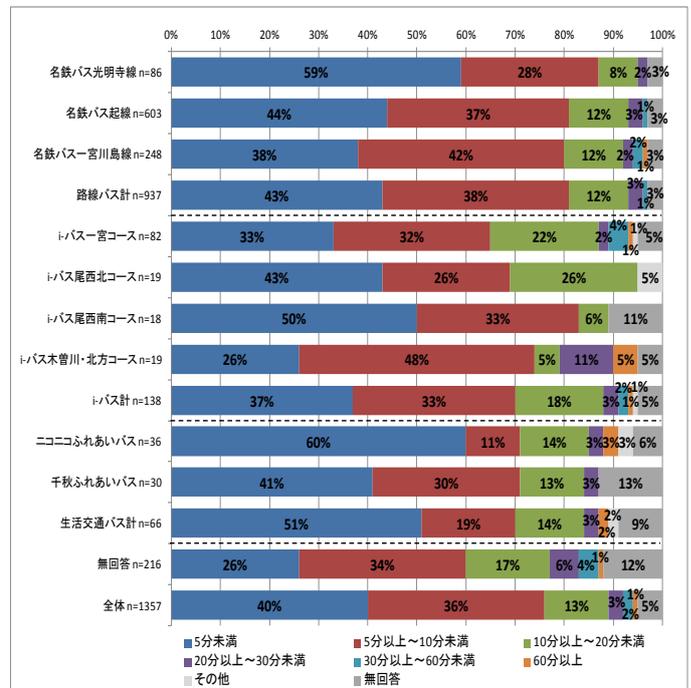
○利用バス停までの交通手段は、名鉄バス、i-バス、生活交通バスともに「徒歩」が67～85%と最も多く、次いで「自転車」が3～26%となっている。また、名鉄バスでは「自動車」も5～7%存在している。

○自宅から利用バス停までの所要時間は、名鉄バス、i-バス、生活交通バスともに、「10分未満」が65～87%を占めている。

▼自宅と利用バス停間の交通手段



▼自宅から利用バス停までの所要時間



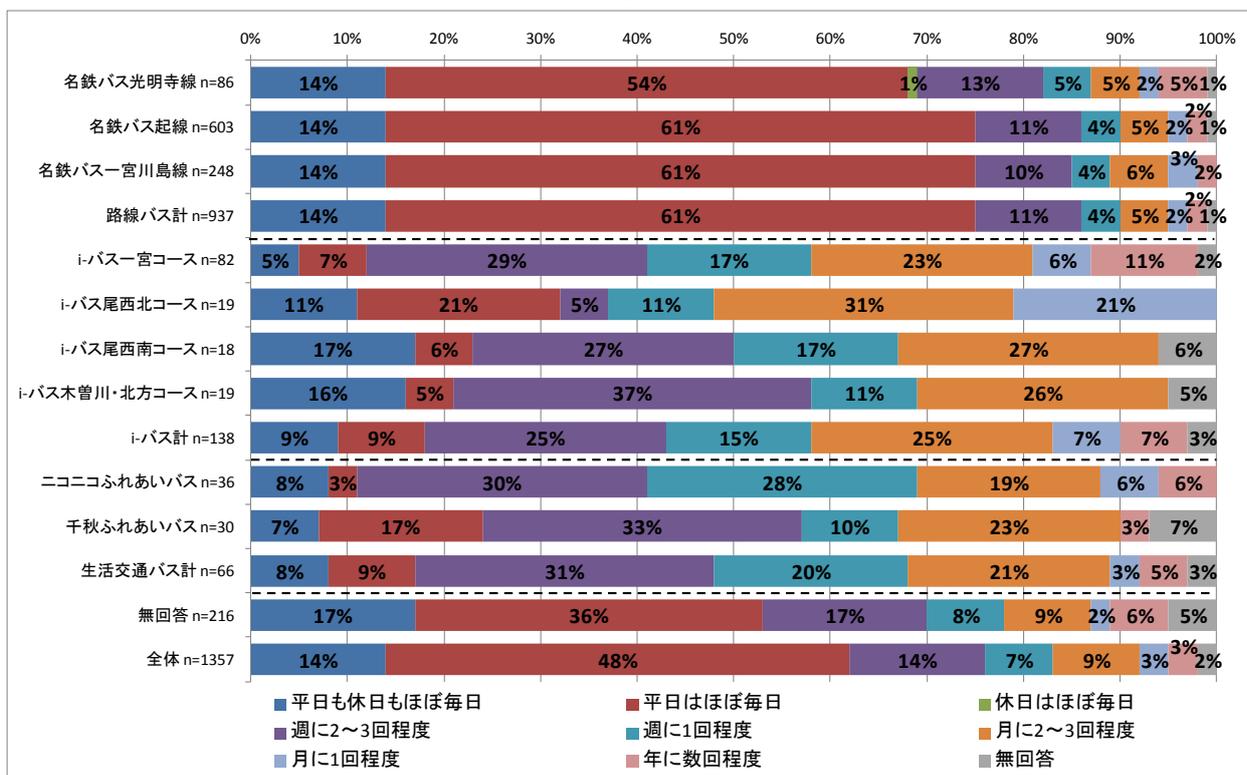
③アンケートを受け取った際に利用していたバスの利用頻度について（配布者全員対象）

問 3 あなたがアンケートを受け取った際に利用されたバスの利用頻度をおしえてください。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 平日も休日ほぼ毎日	2. 平日はほぼ毎日	3. 休日はほぼ毎日
4. 週に2~3回程度	5. 週に1回程度	6. 月に2~3回程度
7. 月に1回程度	8. 年に数回程度	

○アンケートを受け取った際に利用していたバスの利用頻度は、名鉄バスが「平日も休日ほぼ毎日利用」と「平日はほぼ毎日利用」を合わせた割合が69~75%を占めており、「週に1回以上」の利用では87~90%となっている。i-バスでは「週に1回以上」の利用が48~69%となっており、同様に、生活交通バスでは「週に1回以上」の利用が67~69%となっている。

▼利用頻度



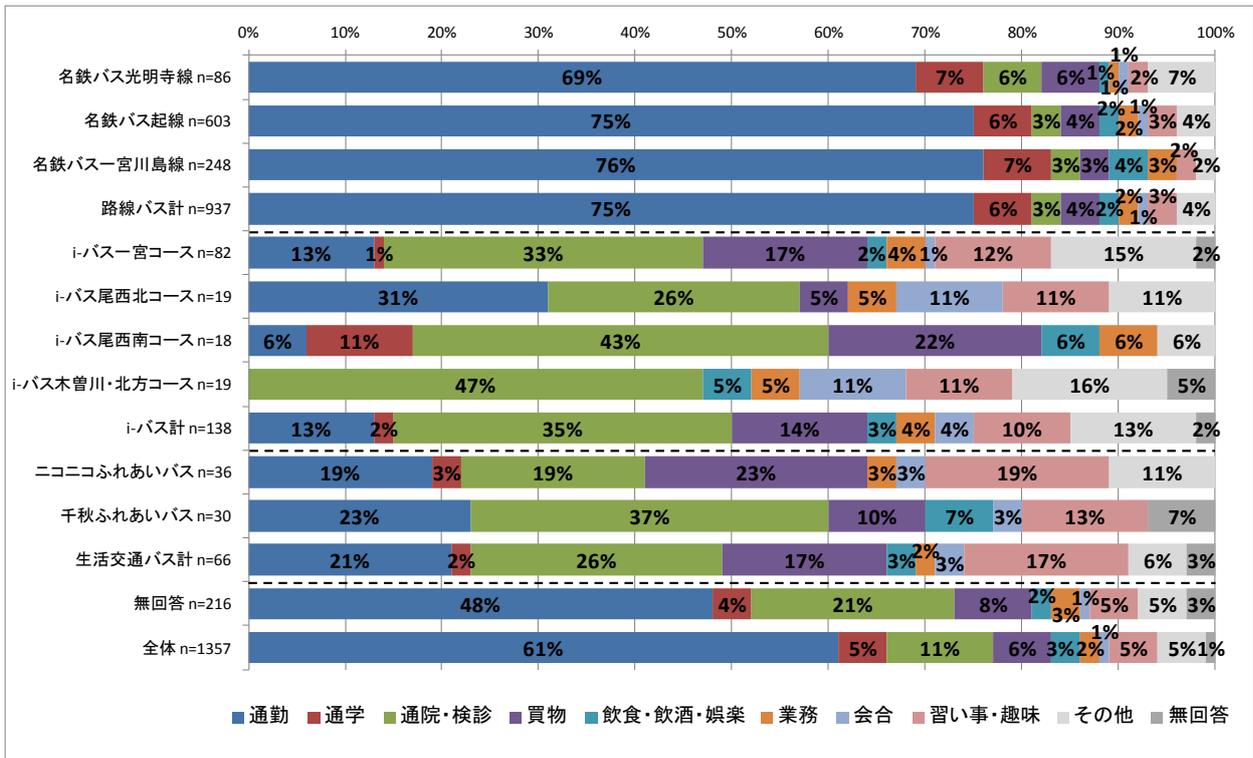
④アンケートを受け取った際に利用していたバスの利用目的について（配布者全員対象）

問 4 あなたがアンケートを受け取った際の主なバスの利用目的をおしえてください。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 通勤	2. 通学	3. 通院・検診	4. 買物
5. 飲食・飲酒・娯楽	6. 業務	7. 会合	8. 習い事・趣味
9. その他（ _____ ）			

○名鉄バスは「通勤」目的が 69～76%を占めている一方、「通学」目的は 6～7%に留まっている。
 ○i-バス及び生活交通バスは「通院・検診」が 19～47%、「買物」が 5～23%と自由目的が多く占めている一方、i-バス尾西北コース及び生活交通バスでは「通勤」目的も 19～31%存在している。

▼利用目的



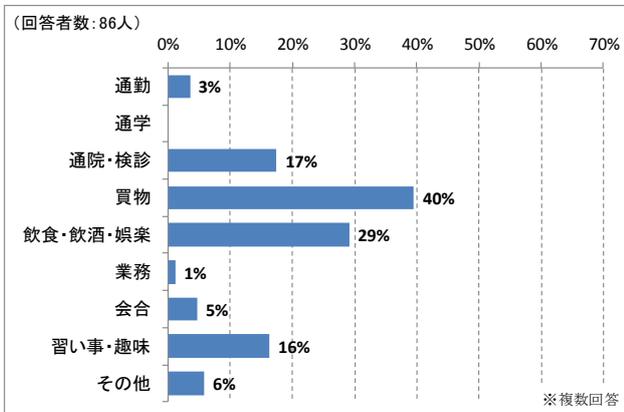
⑤アンケートを受け取った際に利用していたバスの利用目的以外の利用目的について（配布者
全員対象）

問 5 問4の利用目的以外にバスを利用することがあれば、その目的をおしえてください。
該当する番号全てに○をつけてください。

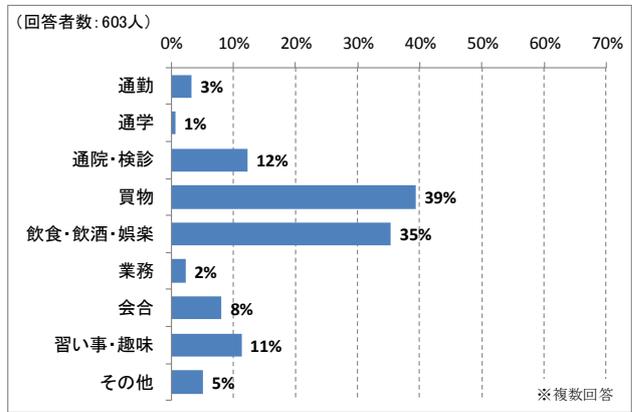
1. 通勤	2. 通学	3. 通院・検診	4. 買物
5. 飲食・飲酒・娯楽	6. 業務	7. 会合	8. 習い事・趣味
9. その他（ ）			

○「通勤」目的による利用を主体とする名鉄バスでは、「買物」が35～40%を占めており、「飲食・飲酒・娯楽」も29～35%存在している。
○i-バス及び生活交通バスでは、「通院・検診」、「買物」、「飲食・飲酒・娯楽」といった自由目的による利用が多く、特に尾西南コース及び生活交通バスの「買物」利用が多い。

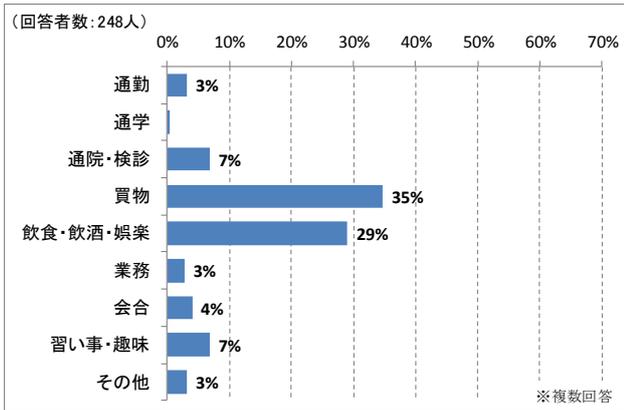
▼名鉄バス光明寺線



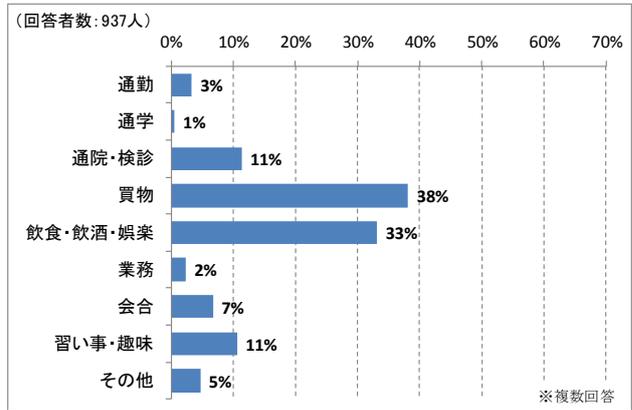
▼名鉄バス起線



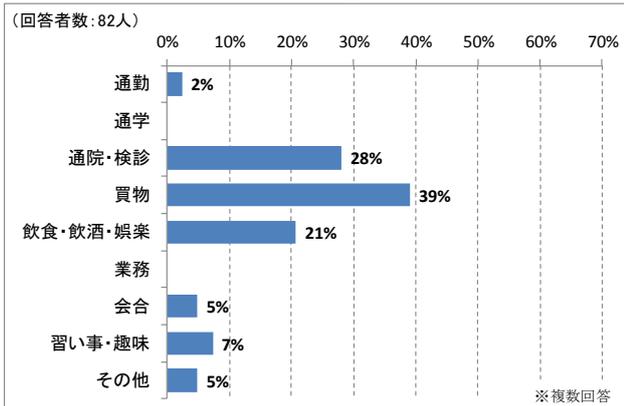
▼名鉄バス一宮川島線



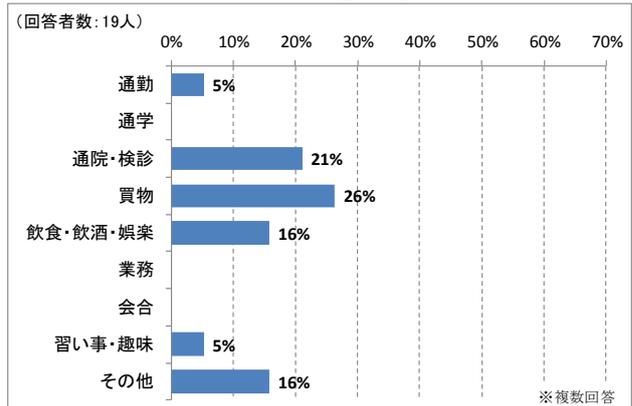
▼路線バス計



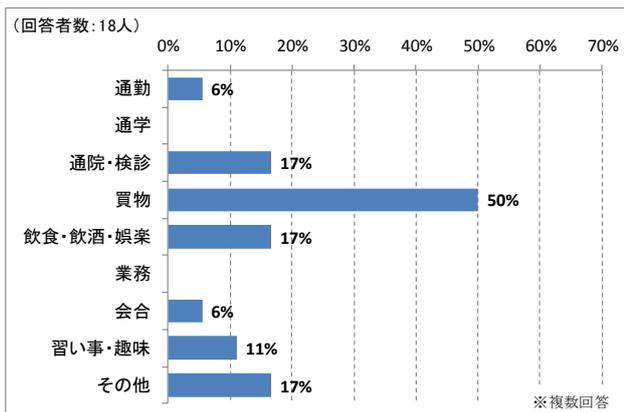
▼i-バス一宮コース



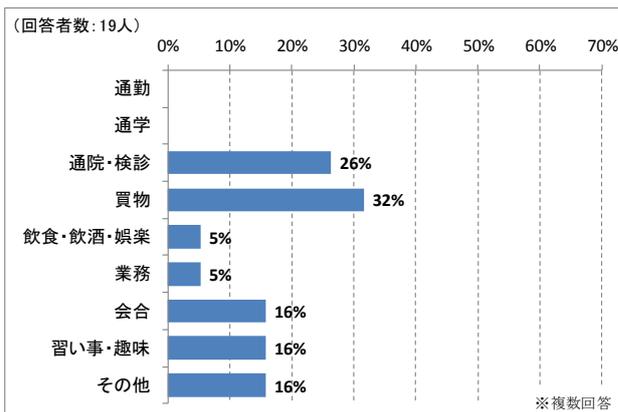
▼i-バス尾西北コース



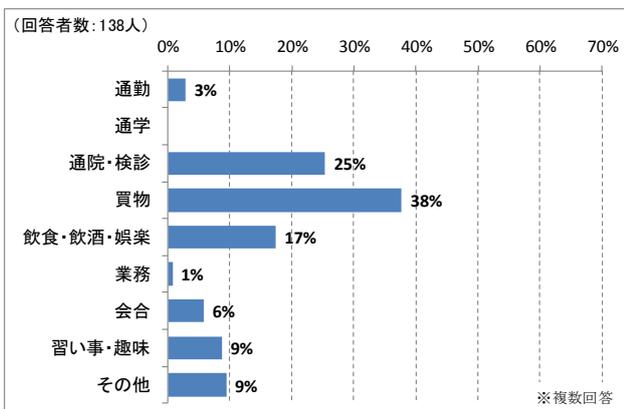
▼i-バス尾西南コース



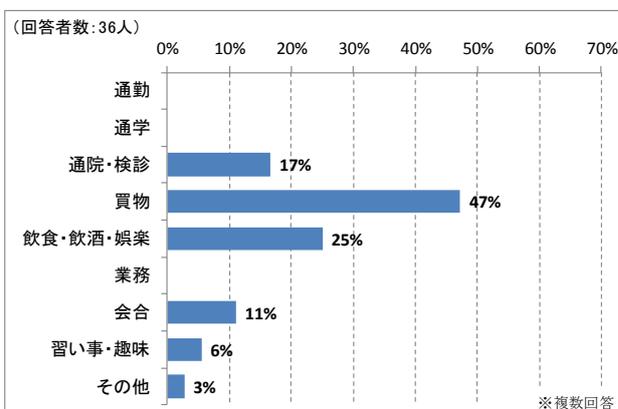
▼i-バス木曾川・北方コース



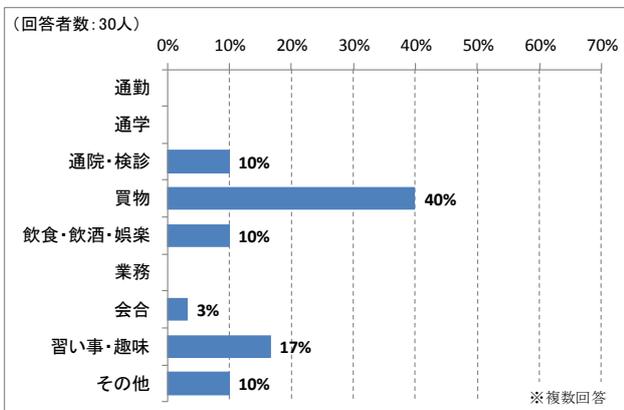
▼i-バス計



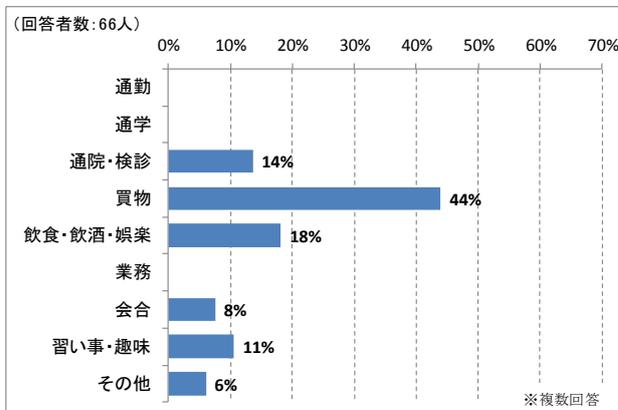
▼ニコニコふれあいバス



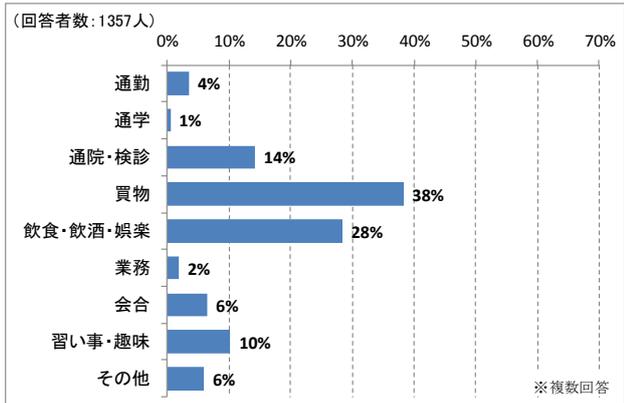
▼千秋ふれあいバス



▼生活交通バス計



▼全体



⑥アンケートを受け取った際に利用していたバスが、行きか帰りかについて（配布者全員対象）

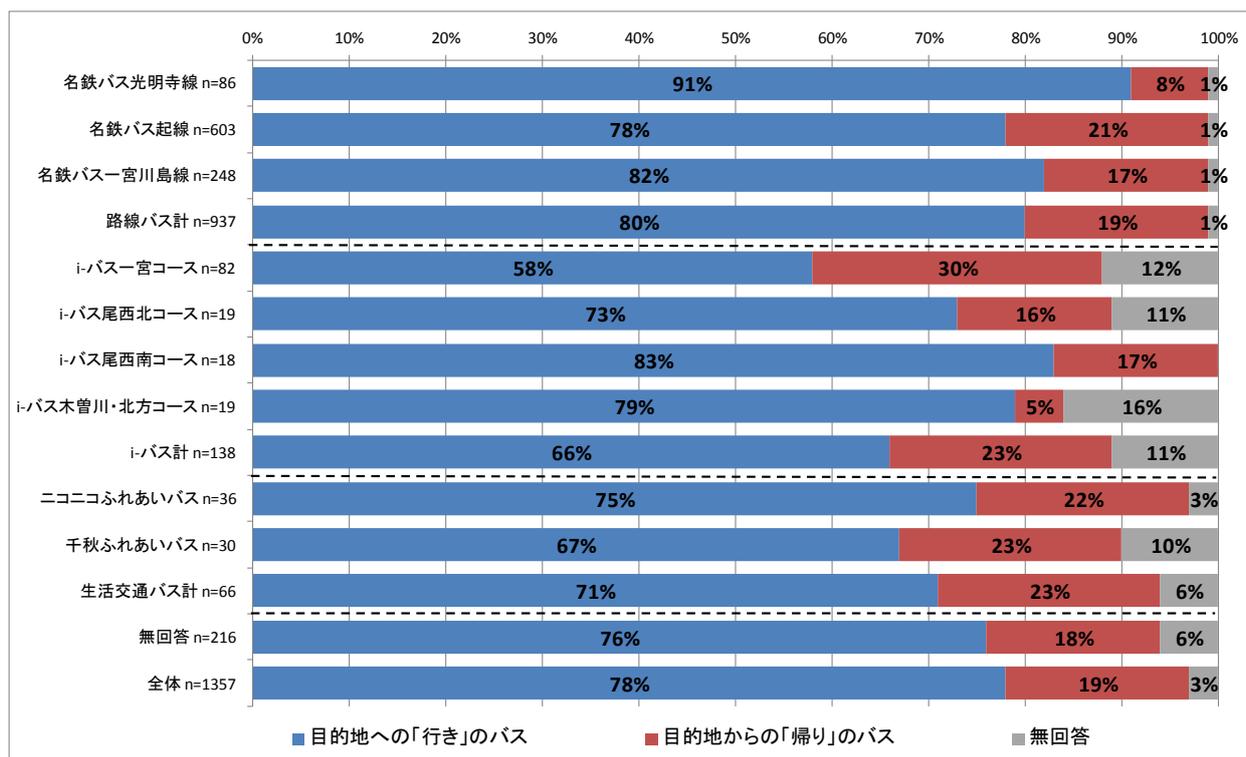
問 6 あなたがアンケートを受け取った際のバス利用は、目的地への「行き」のバスでしたか。それとも目的地・施設からの「帰り」のバスでしたか。

1. 目的地への「行き」のバス

2. 目的地からの「帰り」のバス

○名鉄バス、i-バス及び生活交通バスとも「行き」のバスでアンケートを受け取った方が58～91%を占めている。

▼行き・帰り



⑧行きと帰りで同じバス路線・コースを利用しなかった理由について（「行き」と「帰り」で同じバス路線・コースを利用しなかった方対象）

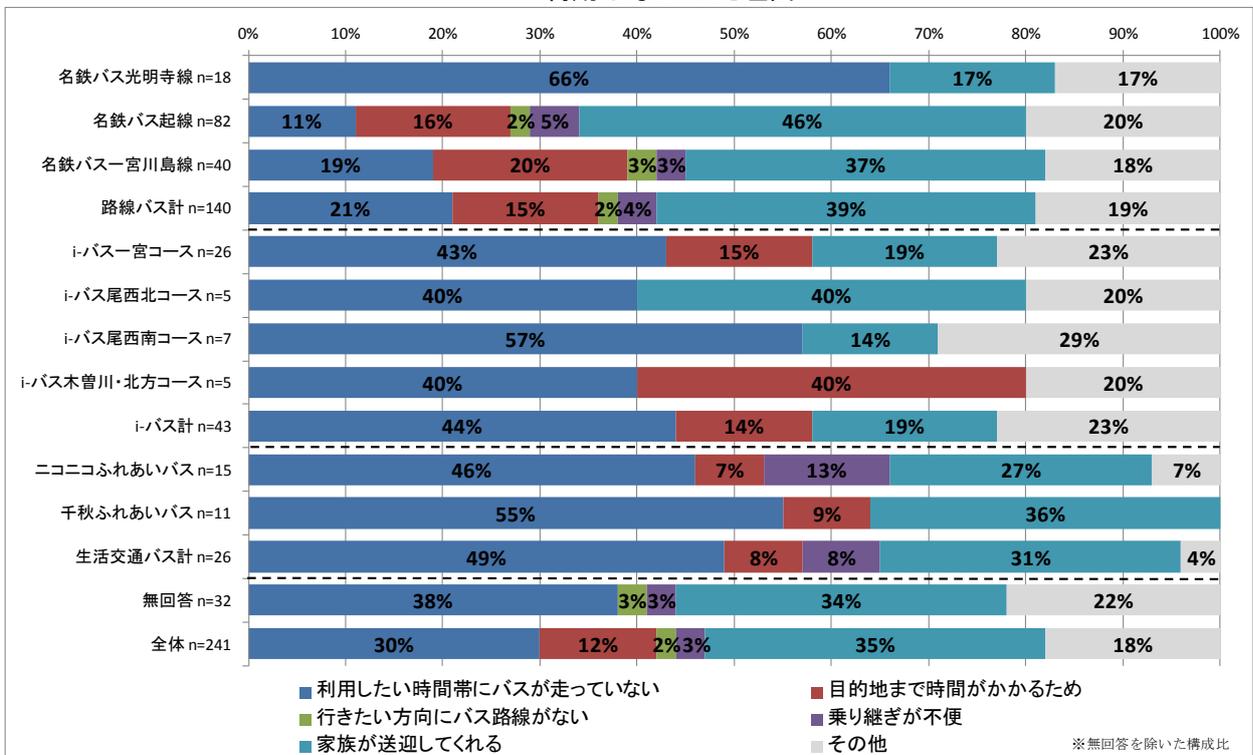
問 8 「行き」と「帰り」で同じバス路線・コースを利用しなかった場合、その理由をおしえてください。該当する番号に1つ○をつけるとともに、必要事項をご記入ください。

1. 「行き」または「帰り」に利用したい時間帯にバスが走っていないため
(利用したい時間帯をおしえてください：午前・午後 _____ 時 _____ 分頃)
2. バスで行こうと思えば行けるが、目的地まで時間がかかるため
3. 行きたい方向にバス路線がないため
4. 乗り継ぎが不便なため
(乗り継ぎが不便な交通手段をおしえてください：_____ から _____)
5. 家族が送迎してくれるため
6. その他 (_____)

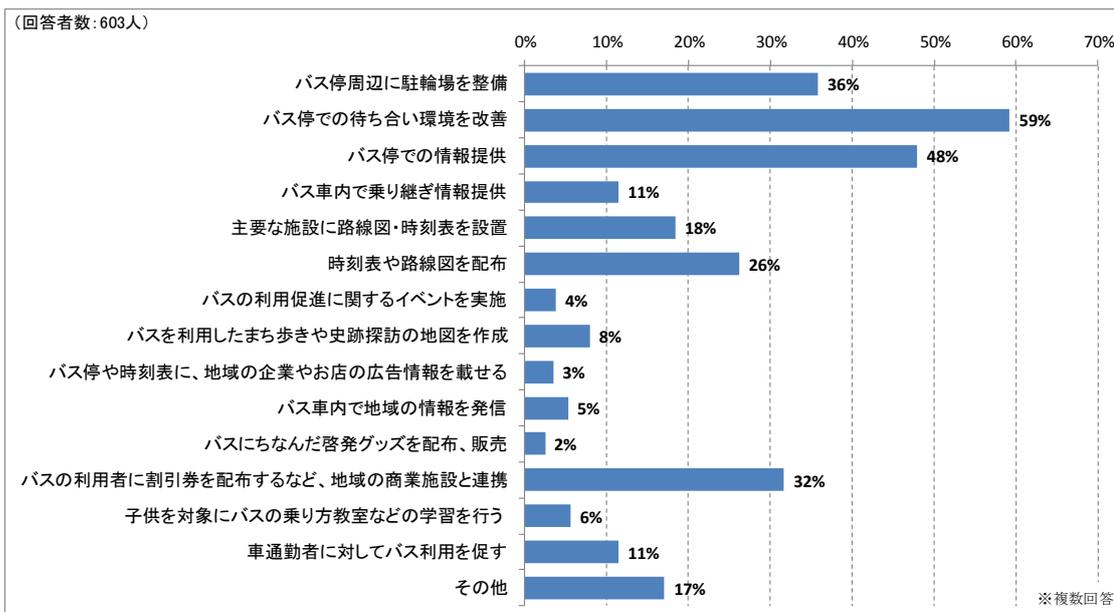
○名鉄バス起線及び一宮川島線では、「家族が送迎してくれる」が37～46%と、利用者側の理由によるものが多くを占めている一方、名鉄バス光明寺線、i-バス及び生活交通バスでは、「利用したい時間帯にバスが走っていない」が40～66%と、サービス提供側の理由によるものが多く、特に名鉄バス光明寺線でその傾向が高い。

○その他、i-バス木曽川・北方コースでは、「目的地まで時間がかかる」が40%を占めている。

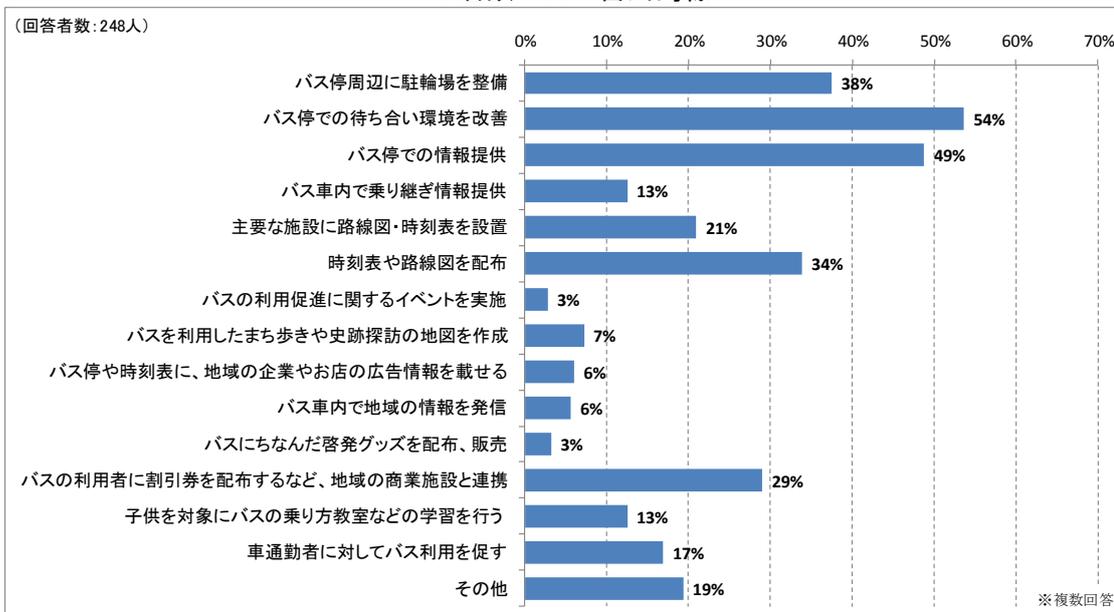
▼利用しなかった理由



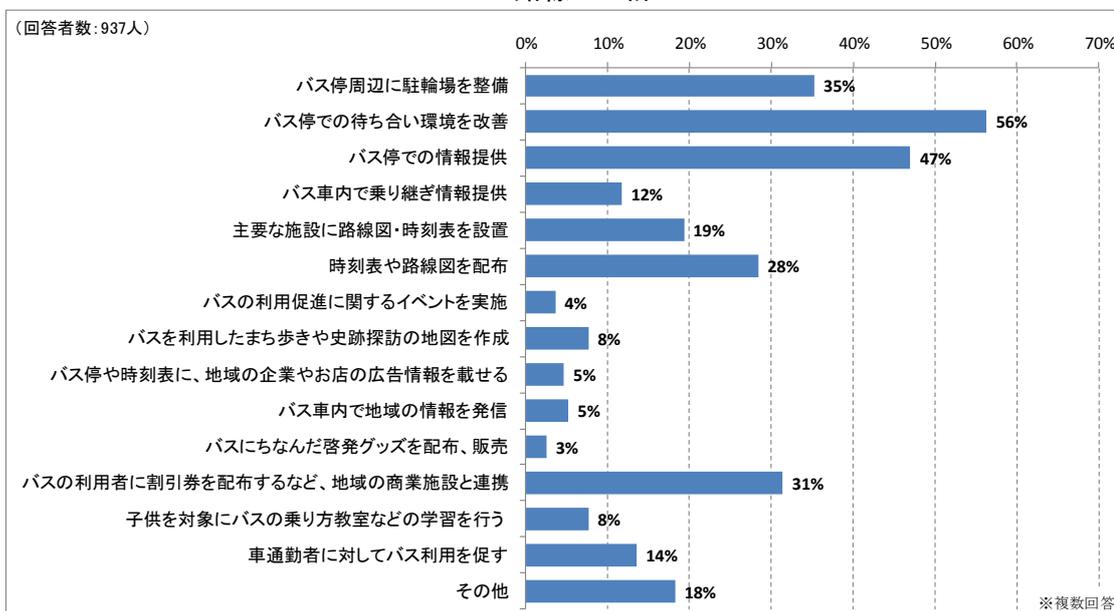
▼名鉄バス起線



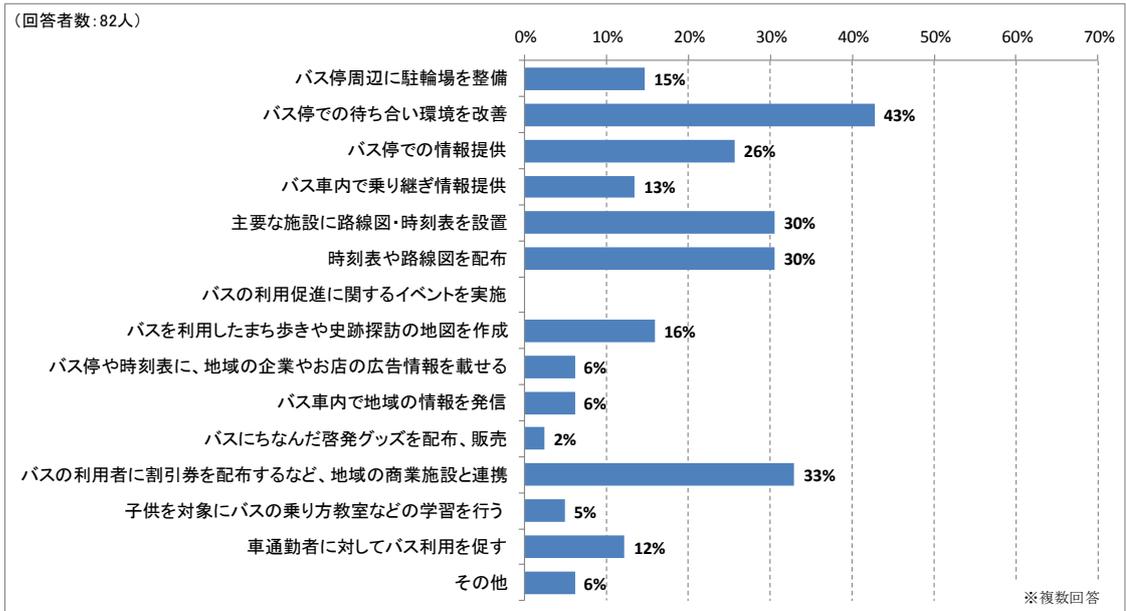
▼名鉄バス一宮川島線



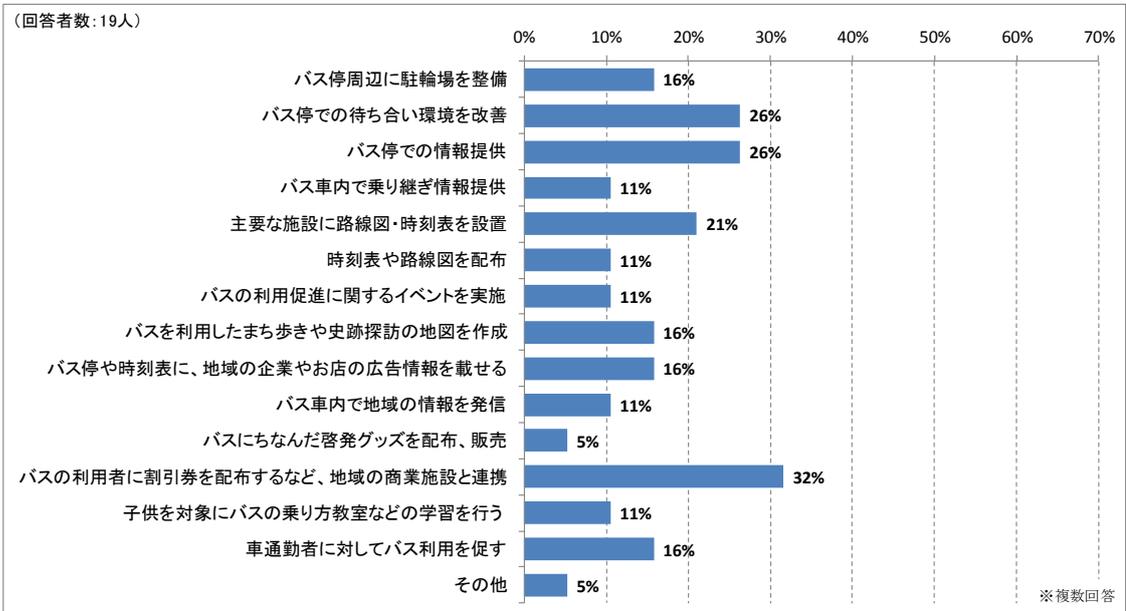
▼路線バス計



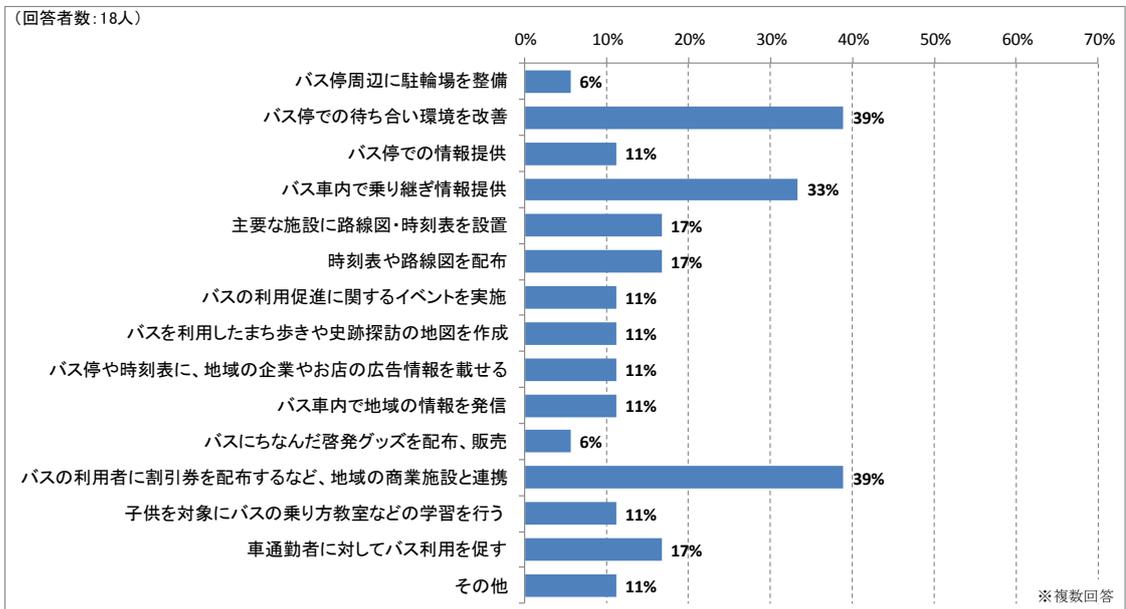
▼i-バス一宮コース



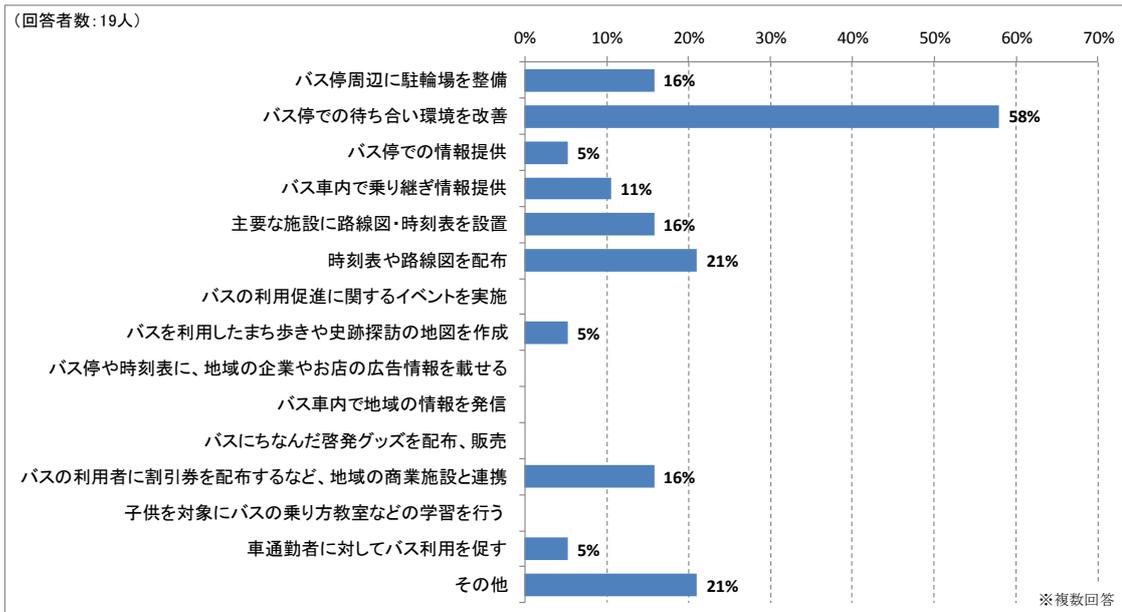
▼i-バス尾西北コース



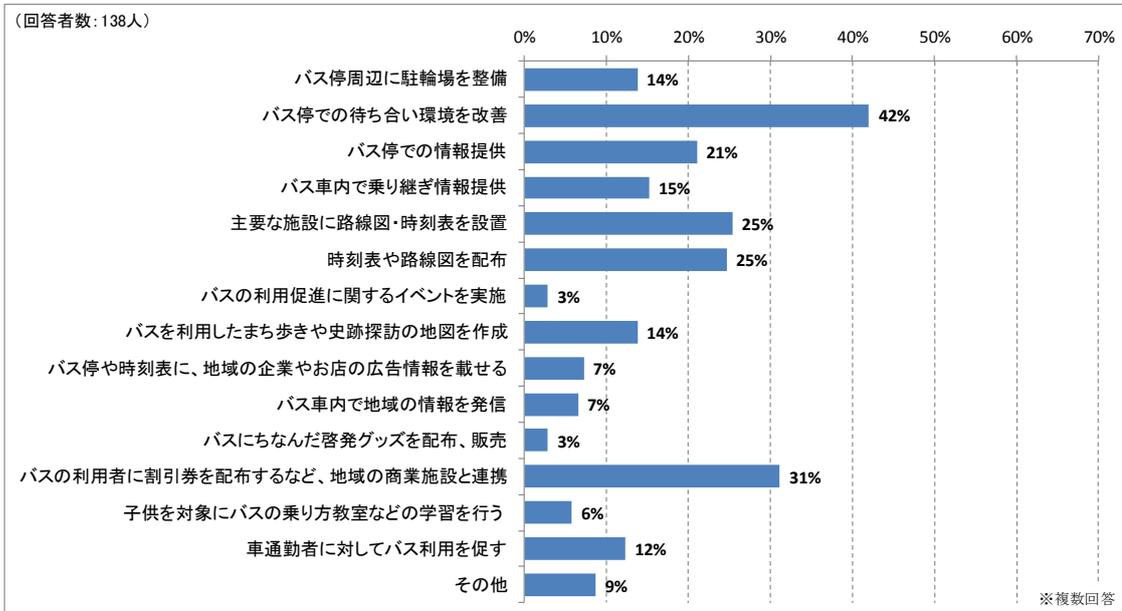
▼i-バス尾西南コース



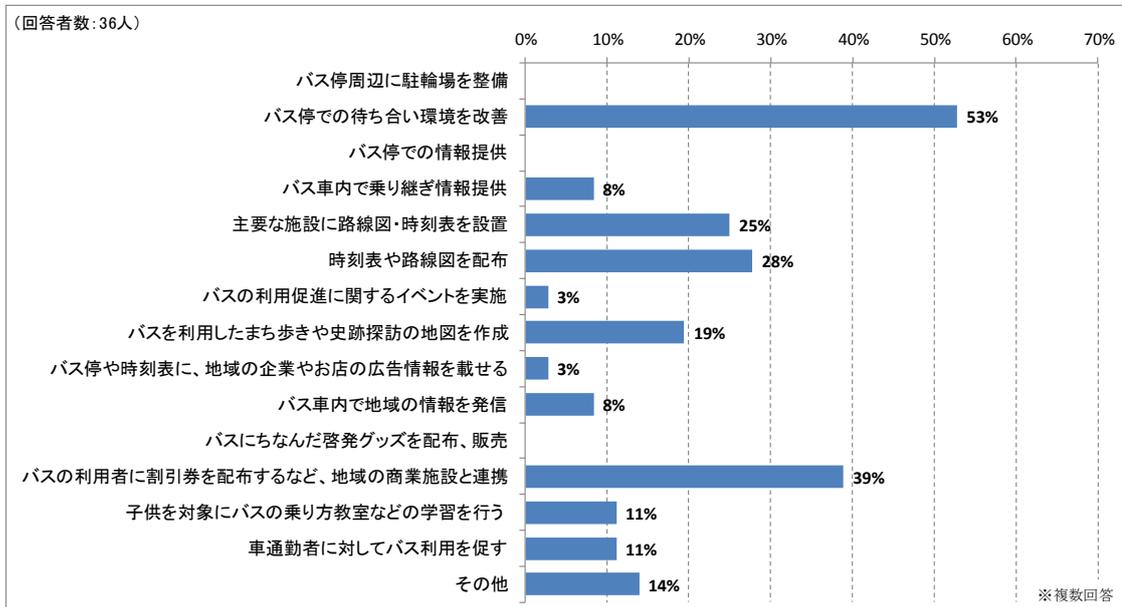
▼i-バス木曽川・北方コース



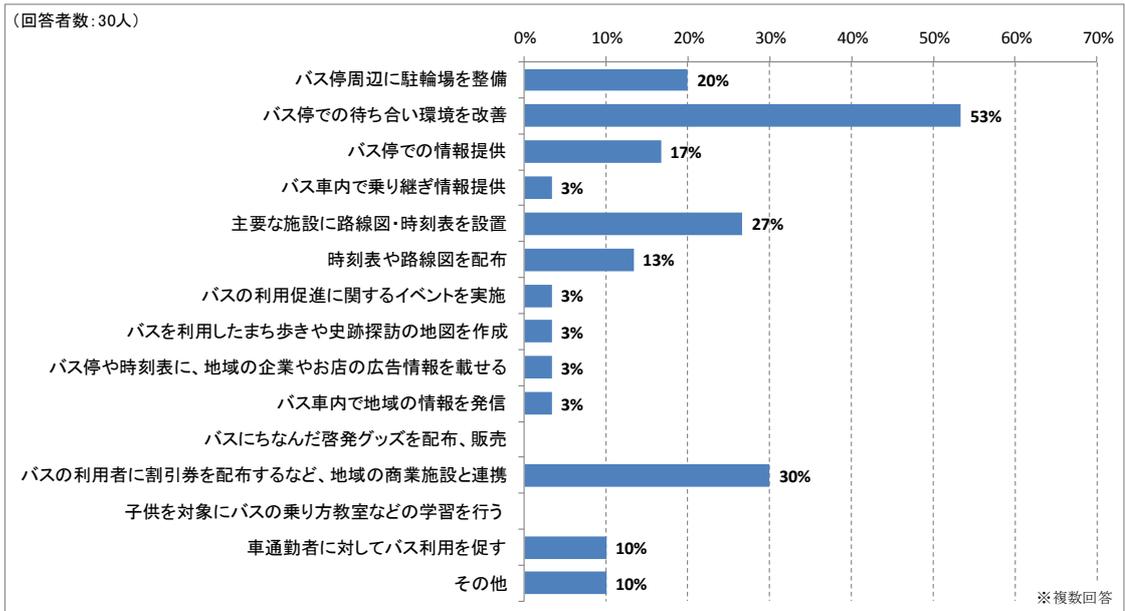
▼i-バス計



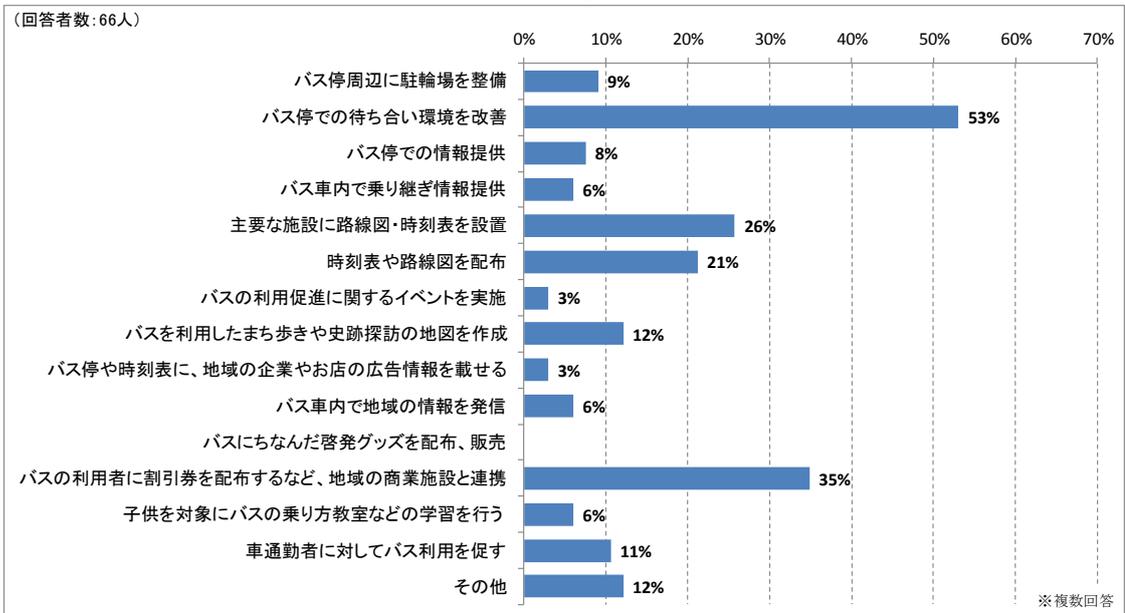
▼ニコニコふれあいバス



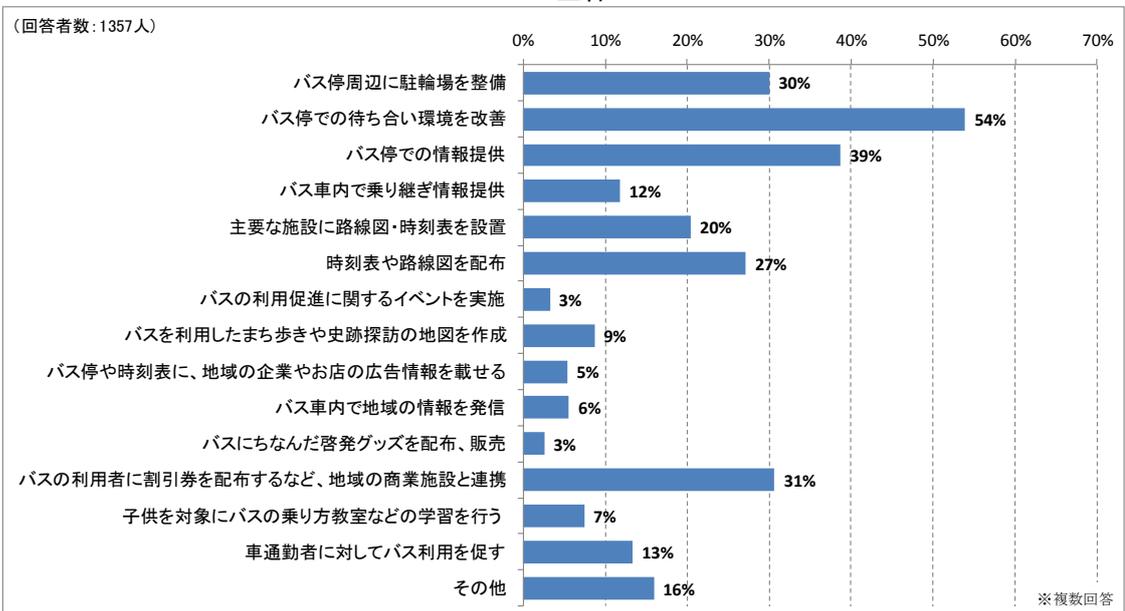
▼千秋ふれあいバス



▼生活交通バス計



▼全体



⑩バスサービスや乗り継ぎに関する満足度について（配布者全員対象）

問10 あなたがアンケートを受け取った際のバスについて、バスサービスや乗り継ぎに関する以下の項目について、「どの程度満足しているか」5段階で評価してください。また、「やや不満」又は「不満」と回答された方は、その項目の具体的な改善内容を右頁にご記入ください。

		満足度					判断でき ない	
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満		
例：⑩ 手持ちの路線図や時刻表の見やすさ		5	4	3	②	1	0	
バスサービスについて	① バスの運行本数	5	4	3	2	1	0	
	② バスの運行経路	5	4	3	2	1	0	
	③ バスの運行経路の分かりやすさ	5	4	3	2	1	0	
	④ 自宅から最寄りバス停までの距離	5	4	3	2	1	0	
	⑤ 降車バス停から目的地・施設までの距離	5	4	3	2	1	0	
	⑥ バスの発車時刻の分かりやすさ	5	4	3	2	1	0	
	⑦ バスが運行している時間帯	5	4	3	2	1	0	
	⑧ 目的地までの所要時間	5	4	3	2	1	0	
	⑨ バスが時刻表どおりに発着すること	5	4	3	2	1	0	
	⑩ バス停での行き先案内や時刻表の見やすさ	5	4	3	2	1	0	
	⑪ バス停の待合環境（屋根やベンチの設置状況）	5	4	3	2	1	0	
	⑫ バス停周辺での施設整備（駐輪場など）	5	4	3	2	1	0	
	⑬ バスの乗り降りのしやすさ	5	4	3	2	1	0	
	⑭ バスの乗り心地	5	4	3	2	1	0	
	⑮ バス車内における案内表示のわかりやすさ	5	4	3	2	1	0	
	⑯ 手持ちの路線図や時刻表の見やすさ	5	4	3	2	1	0	
	乗り継ぎについて	⑰ 運賃体系	5	4	3	2	1	0
		⑱ バスの運転手の対応	5	4	3	2	1	0
⑲ 乗り継ぎの際の待ち時間		5	4	3	2	1	0	
⑳ 乗り継ぎに関する情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ		5	4	3	2	1	0	
㉑ 乗り継ぎをする際の移動距離		5	4	3	2	1	0	
㉒ 乗り継ぎをするバス停の待合環境（屋根やベンチの設置状況）		5	4	3	2	1	0	
㉓ 総合的な満足度		5	4	3	2	1	0	

満足度において「やや不満」「不満」と回答された項目に関する具体的な改善内容

⑬ 時刻表の字が小さくて見にくい。字を大きくほしい。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

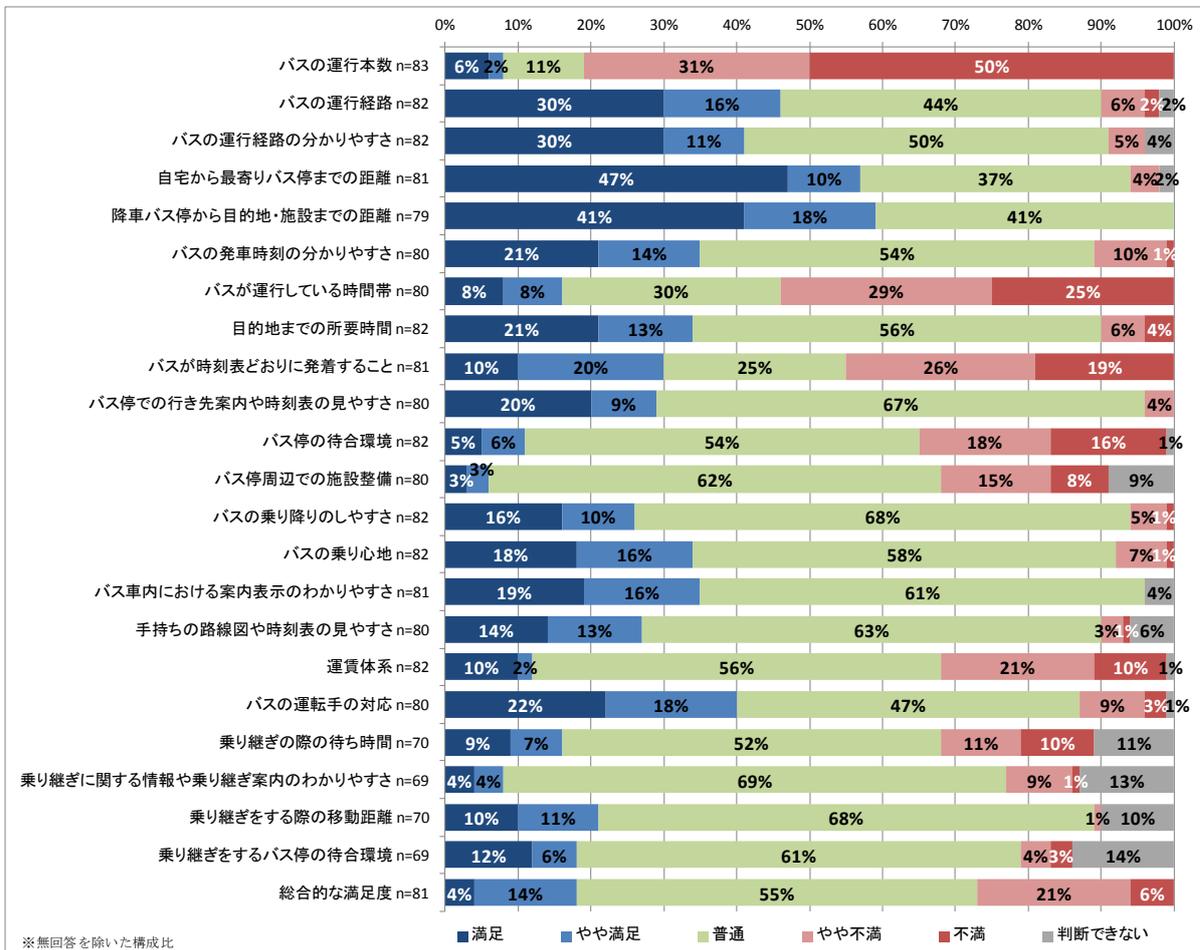
㉑

㉒

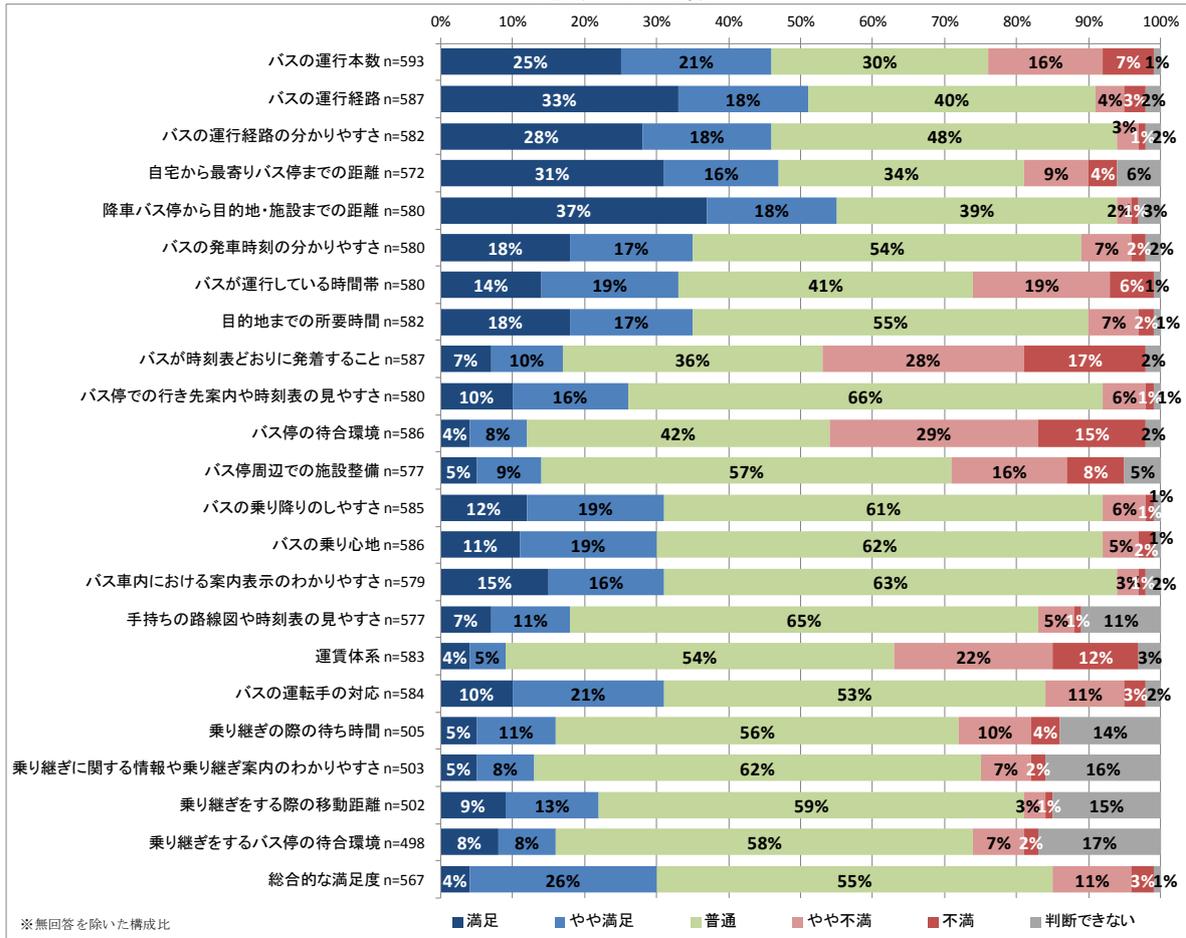
㉓

- 名鉄バスの「総合的な満足度」は、起線及び一宮川島線では満足が不満を上回っているものの、光明寺線では不満が満足を上回っている。個別項目では、「降車バス停から目的地・施設までの距離」、「自宅から最寄りバス停までの距離」、「バスの運行経路」の満足度が高い一方、「バスが運行している時間帯」、「バスが時間どおりに発着すること」、「運賃体系」、「バス停の待合環境」の不満が高い。また、特に光明寺線の「バスの運行本数」では満足8%に対して不満81%となっている。
- i-バスの「総合的な満足度」は、路線により数値は異なるものの、全コースで満足が不満を上回っている。個別項目では、「降車バス停から目的地・施設までの距離」、「自宅から最寄りバス停までの距離」、「バス運転手の対応」、「運賃体系」の満足度が高い一方、「バスの運行本数」、「バス停の待合環境」の不満が高い。また、その他の項目として一宮コースの「バスが時間どおりに発着すること」、尾西南コースの「乗り継ぎの際の待ち時間」及び「乗り継ぎをするバス停の待合環境」の不満が高い。
- 生活交通バスの「総合的な満足度」は、千秋ふれあいバスでやや不満が4%存在するのみで、満足、まあ満足が39～43%となっている。個別項目では、「降車バス停から目的地・施設までの距離」、「自宅から最寄りバス停までの距離」、「バス運転手の対応」の満足度が高い一方、「バスの運行本数」、「バス停の待合環境」の不満が高い。また、その他の項目としてニコニコふれあいバスの「バスが運行している時間帯」、千秋ふれあいバスの「バス停周辺での施設整備」の不満が高い。

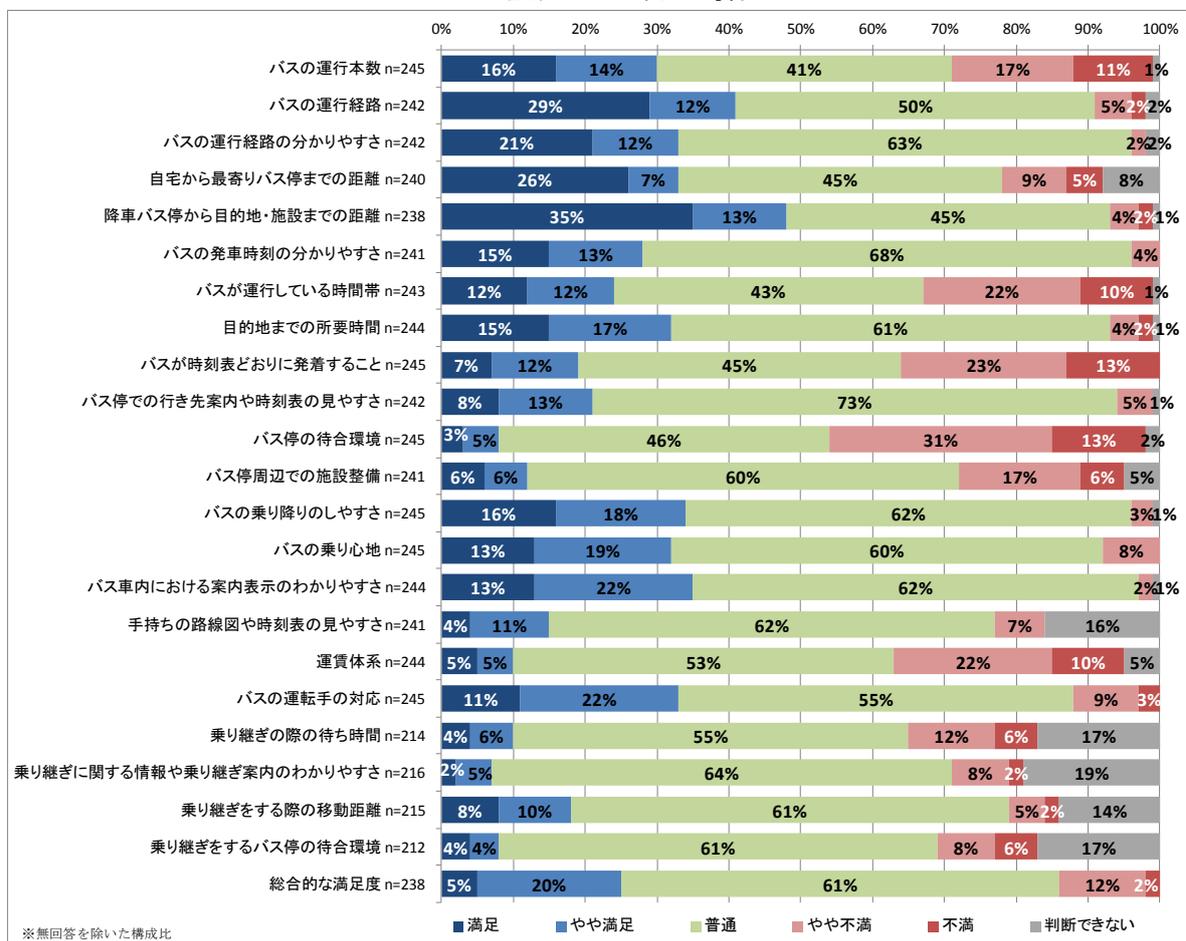
▼名鉄バス光明寺線



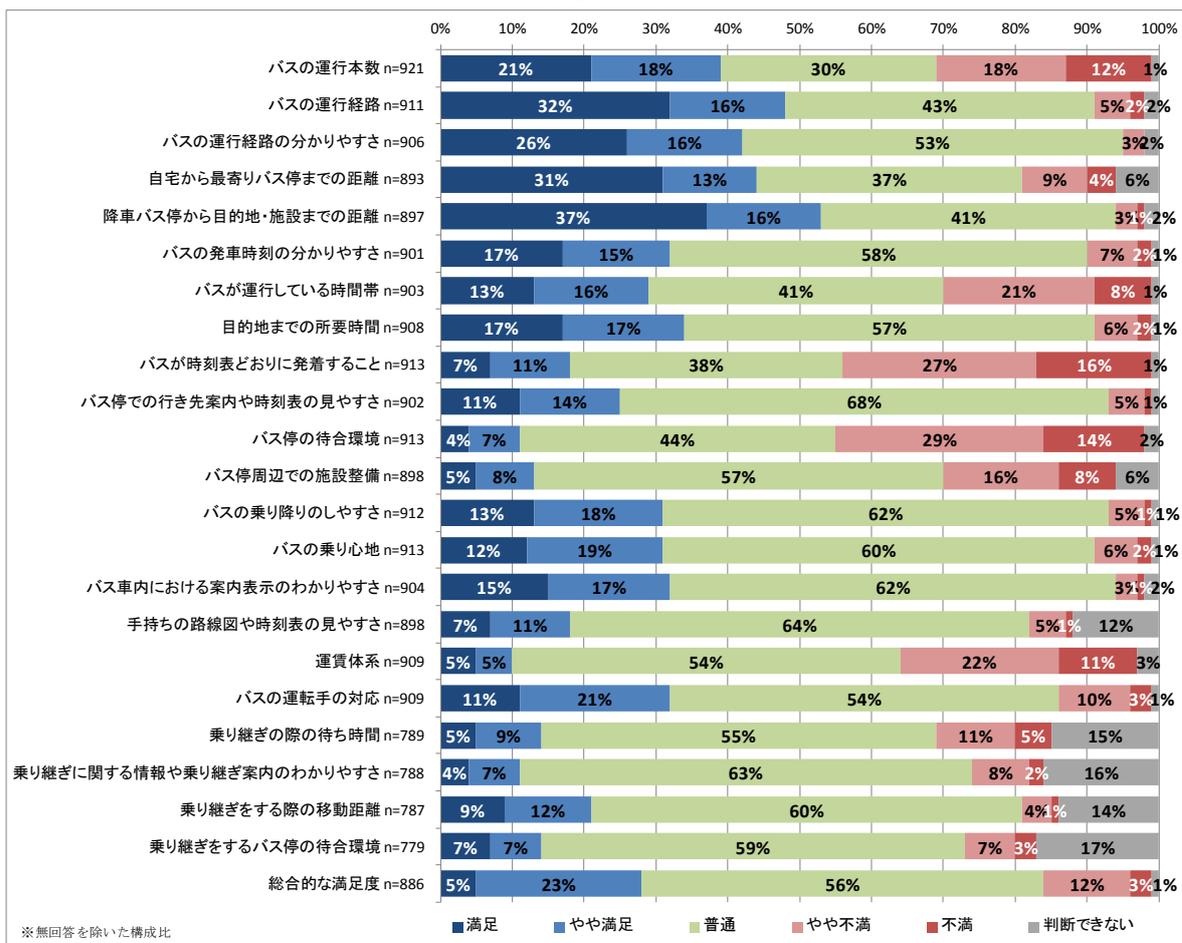
▼名鉄バス起線



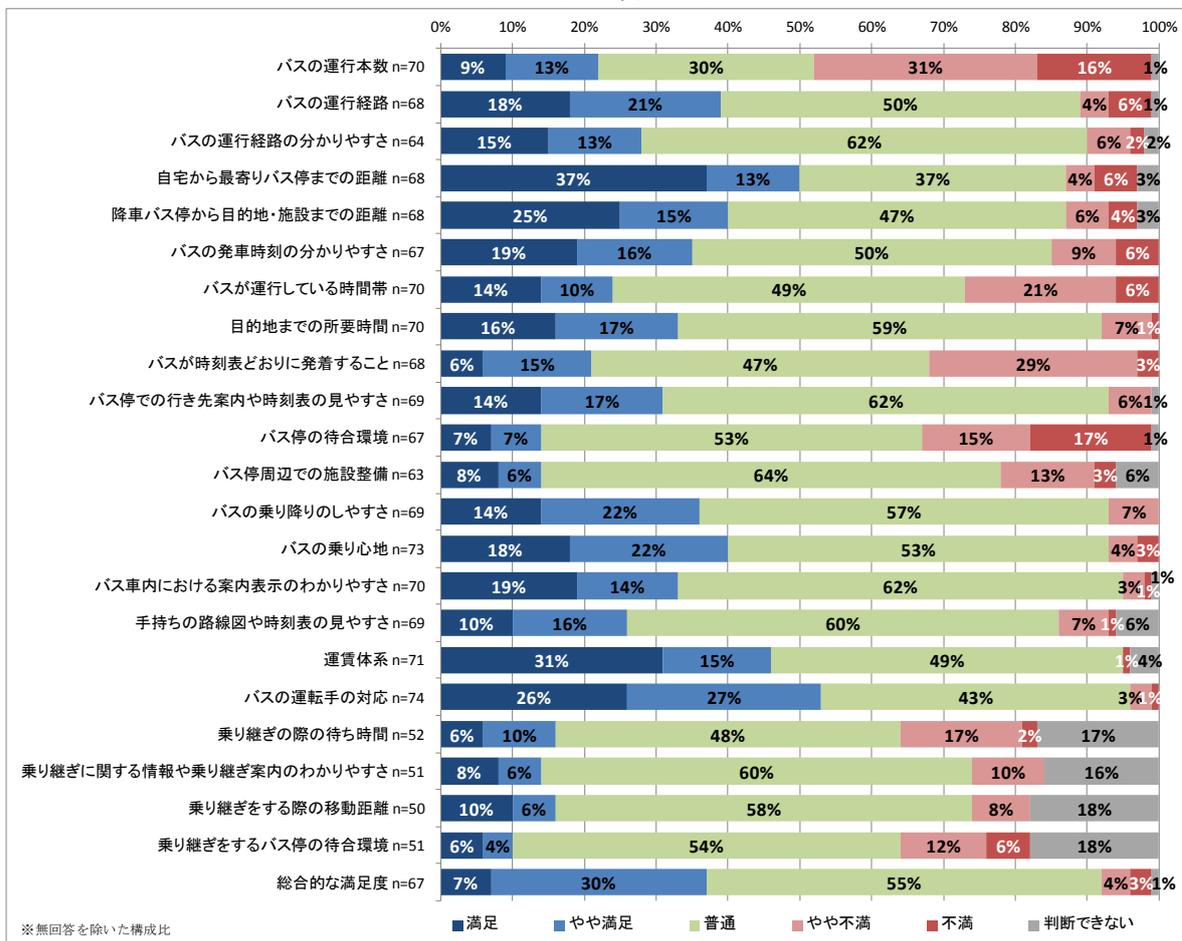
▼名鉄バス一宮川島線



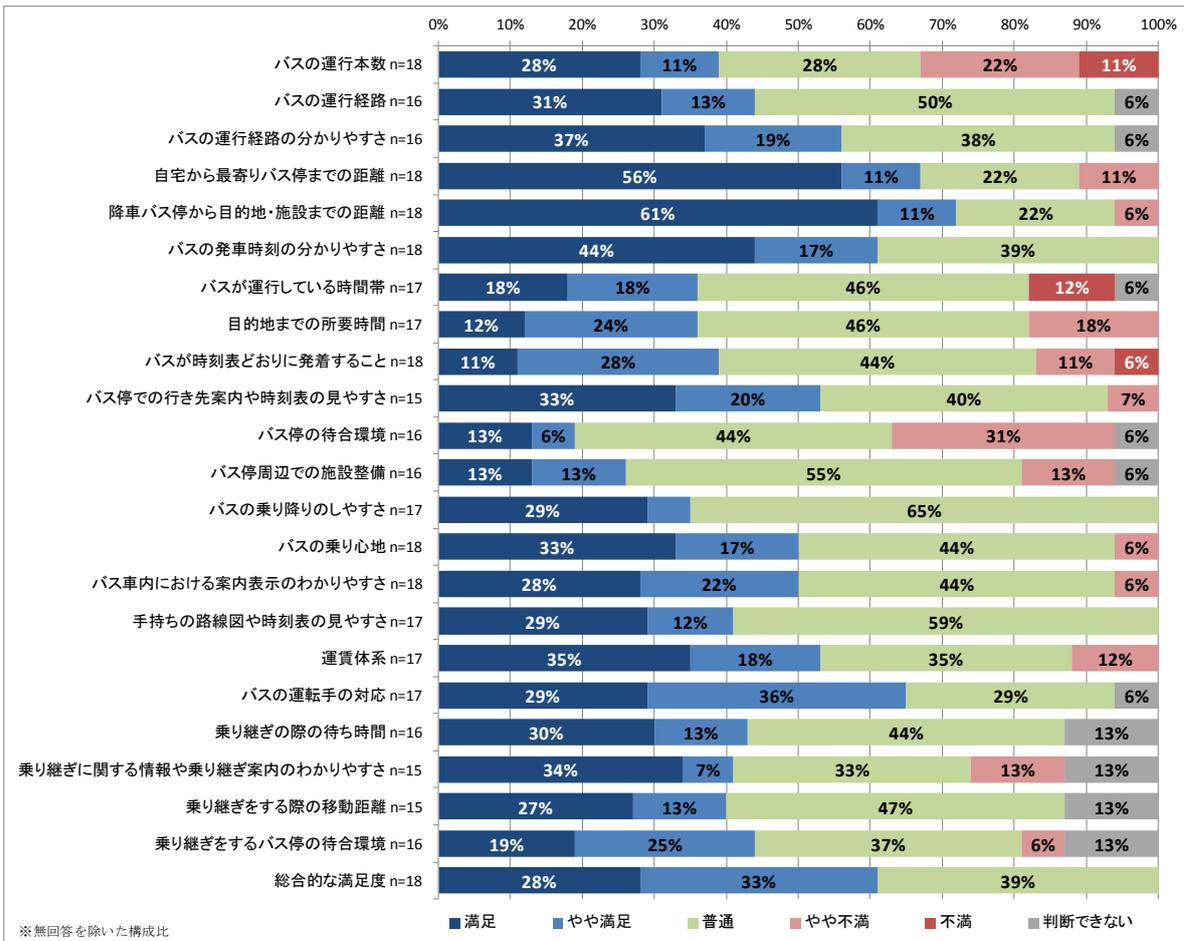
▼路線バス計



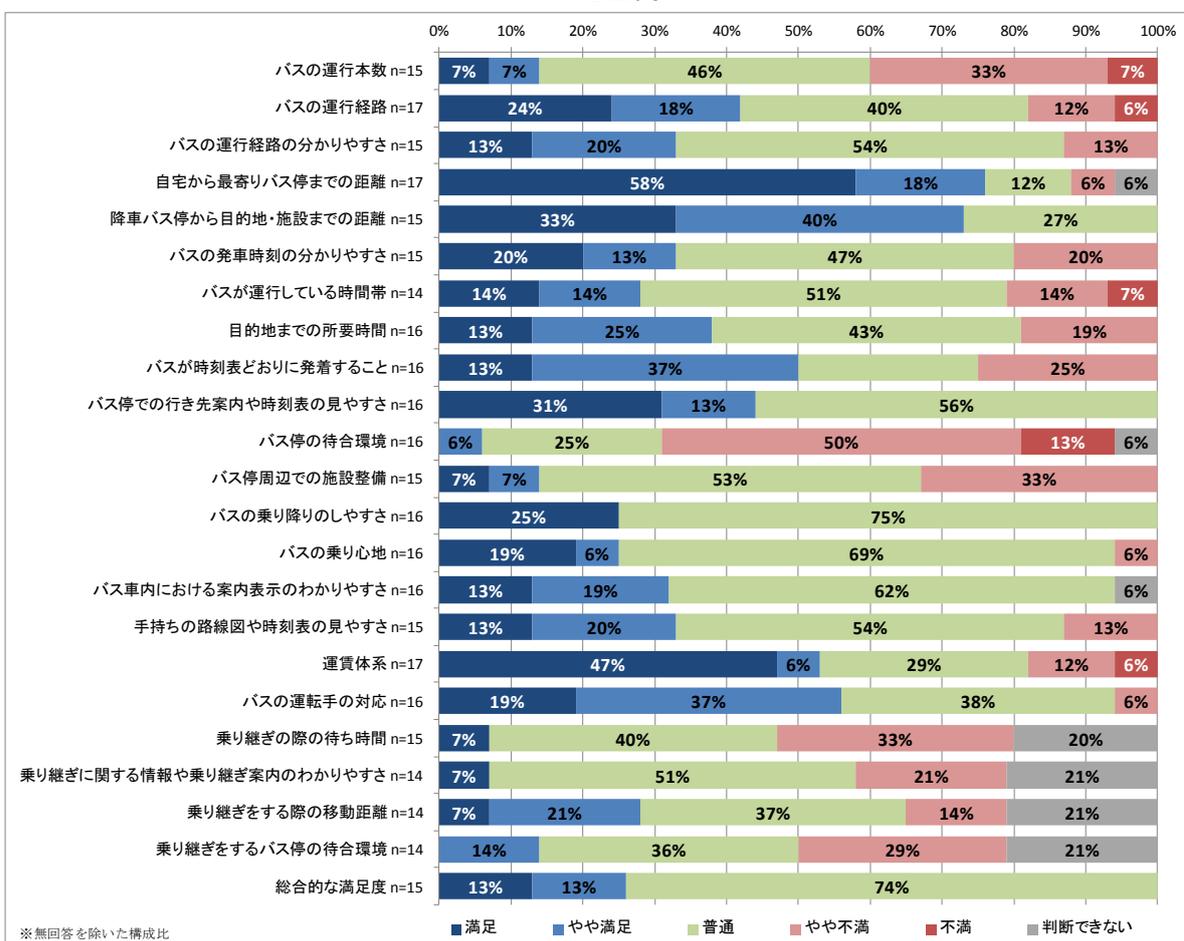
▼i-バスー宮コース



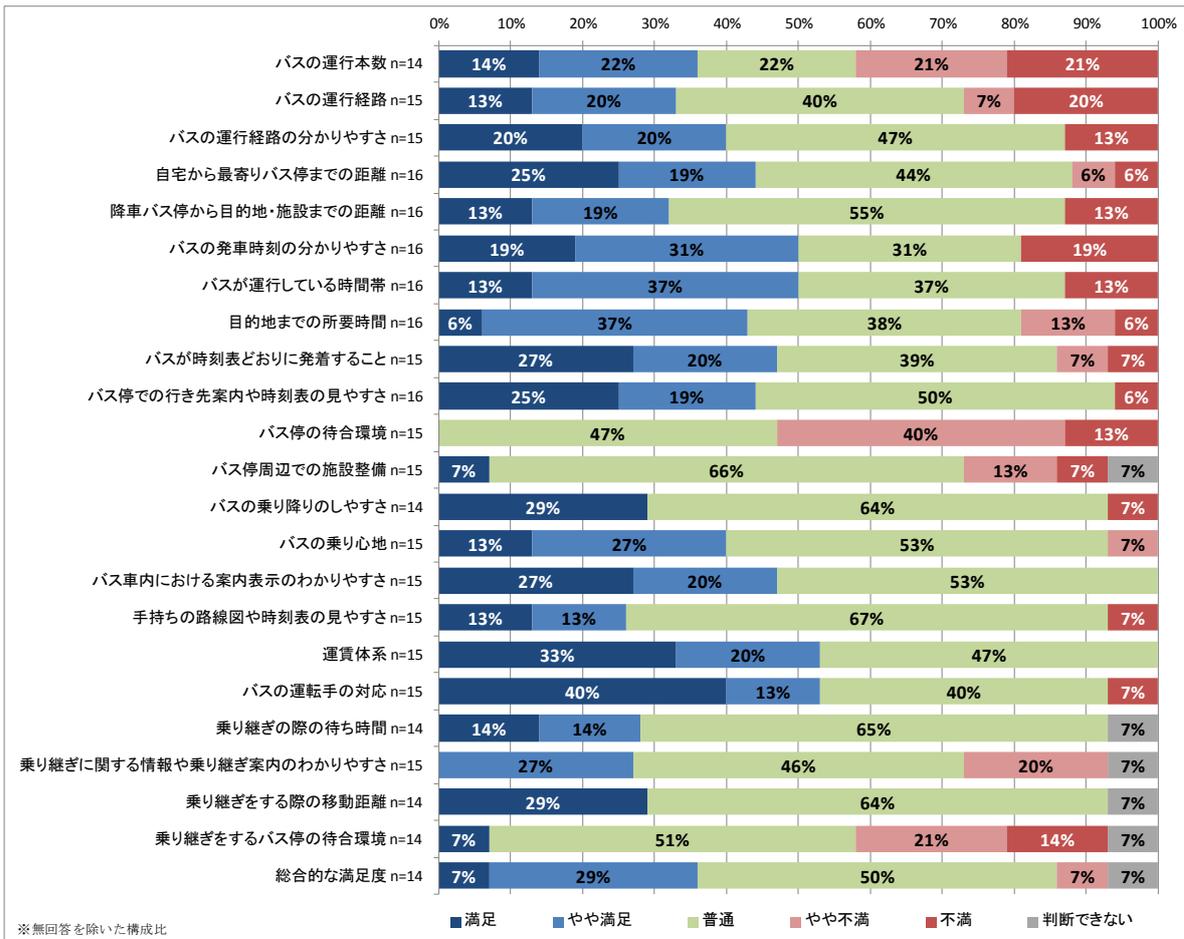
▼i-バス尾西北コース



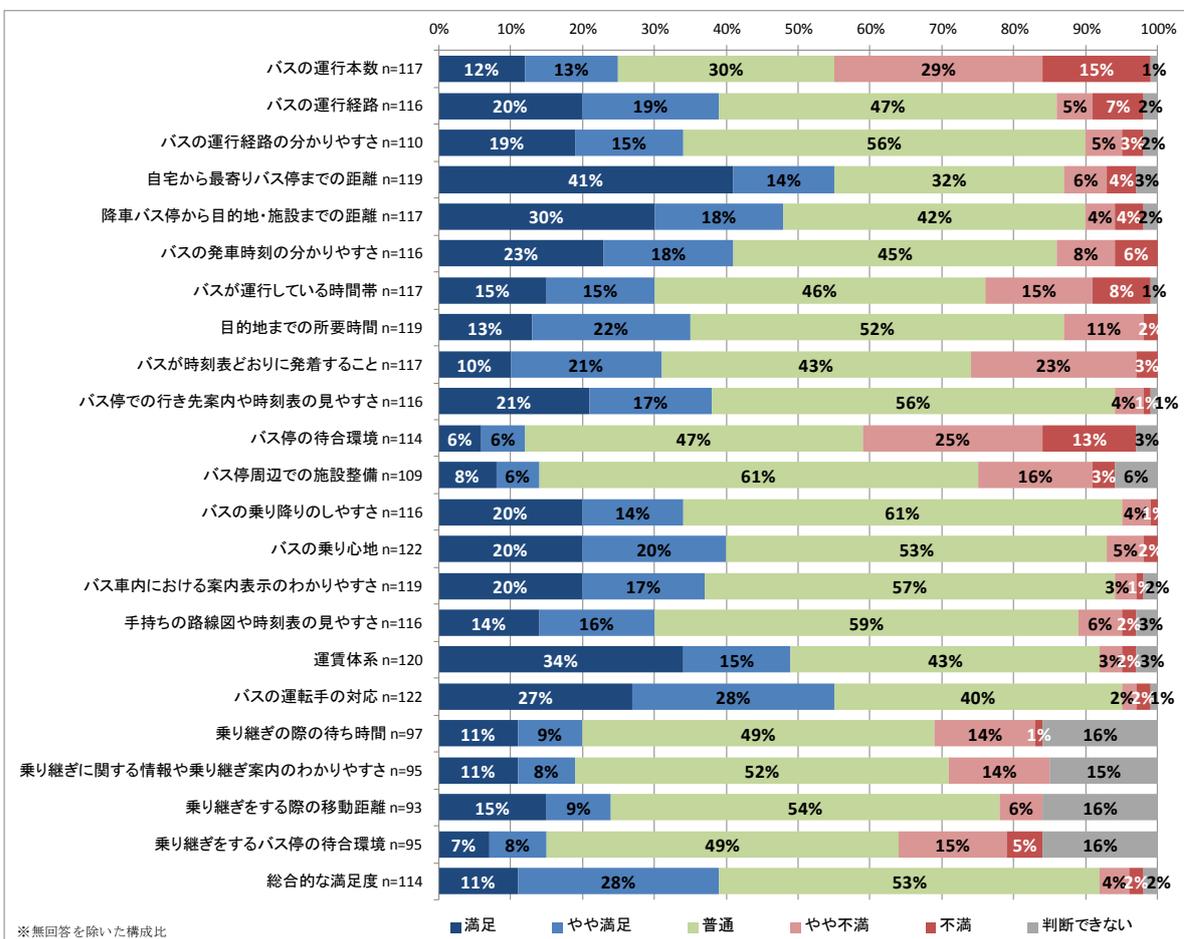
▼i-バス尾西南コース



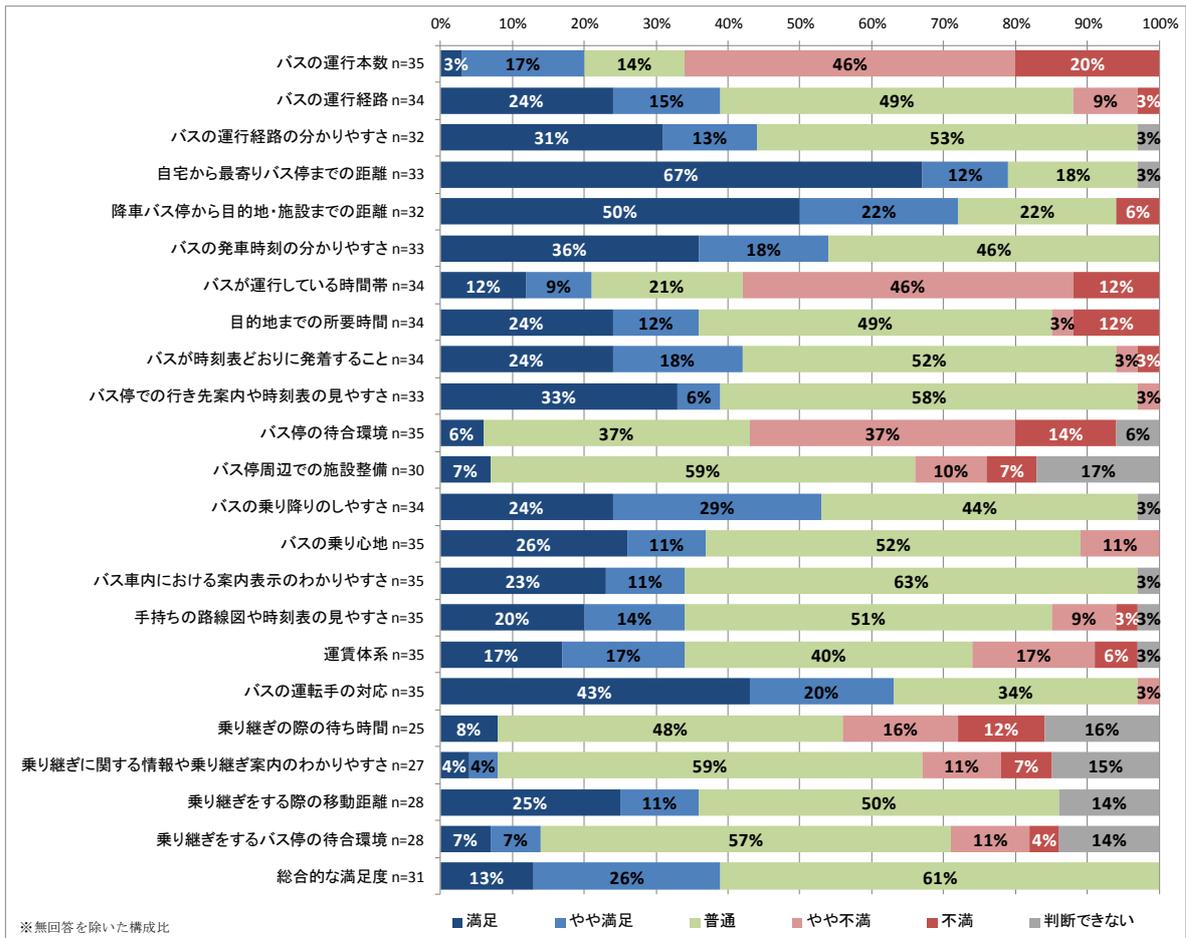
▼i-バス木曽川・北方コース



▼i-バス計

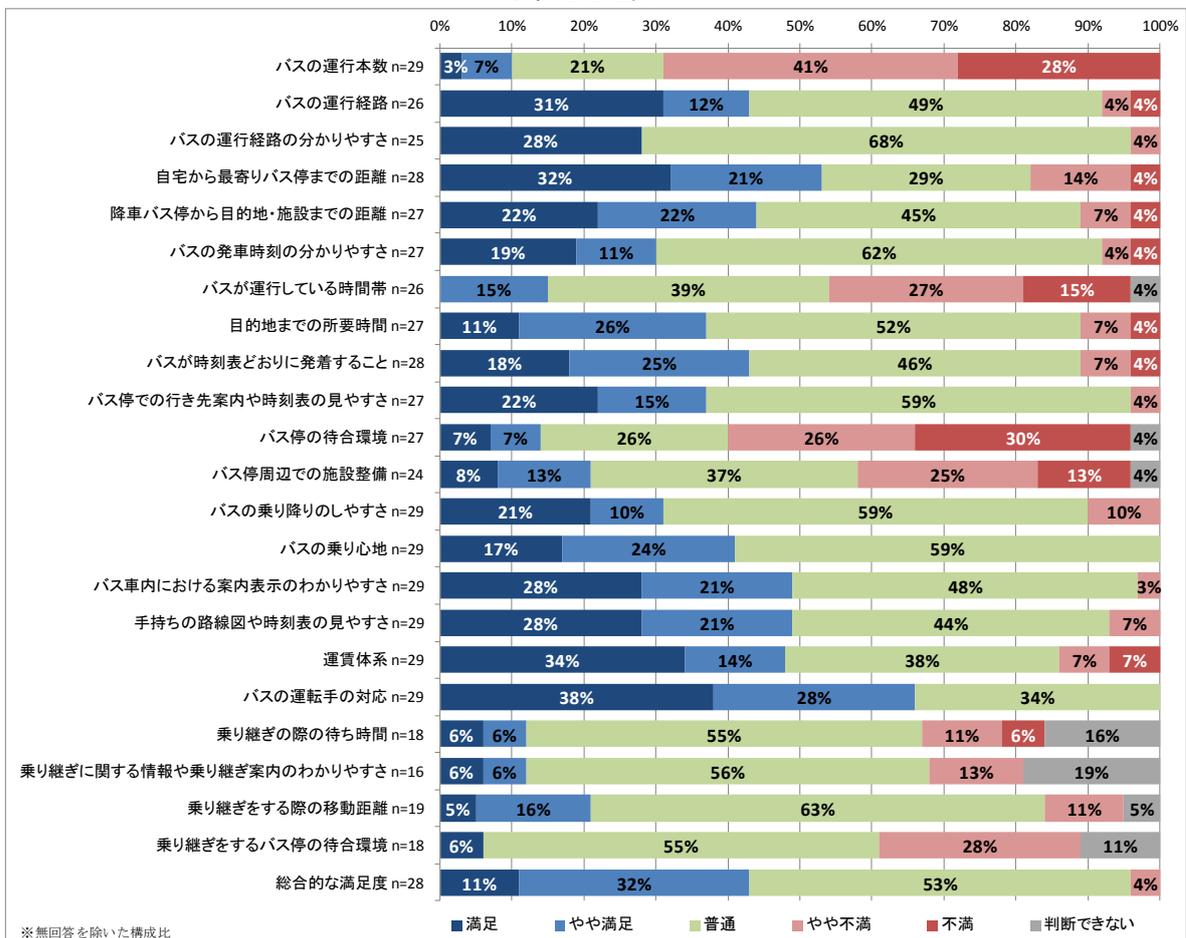


▼ニコニコふれあいバス



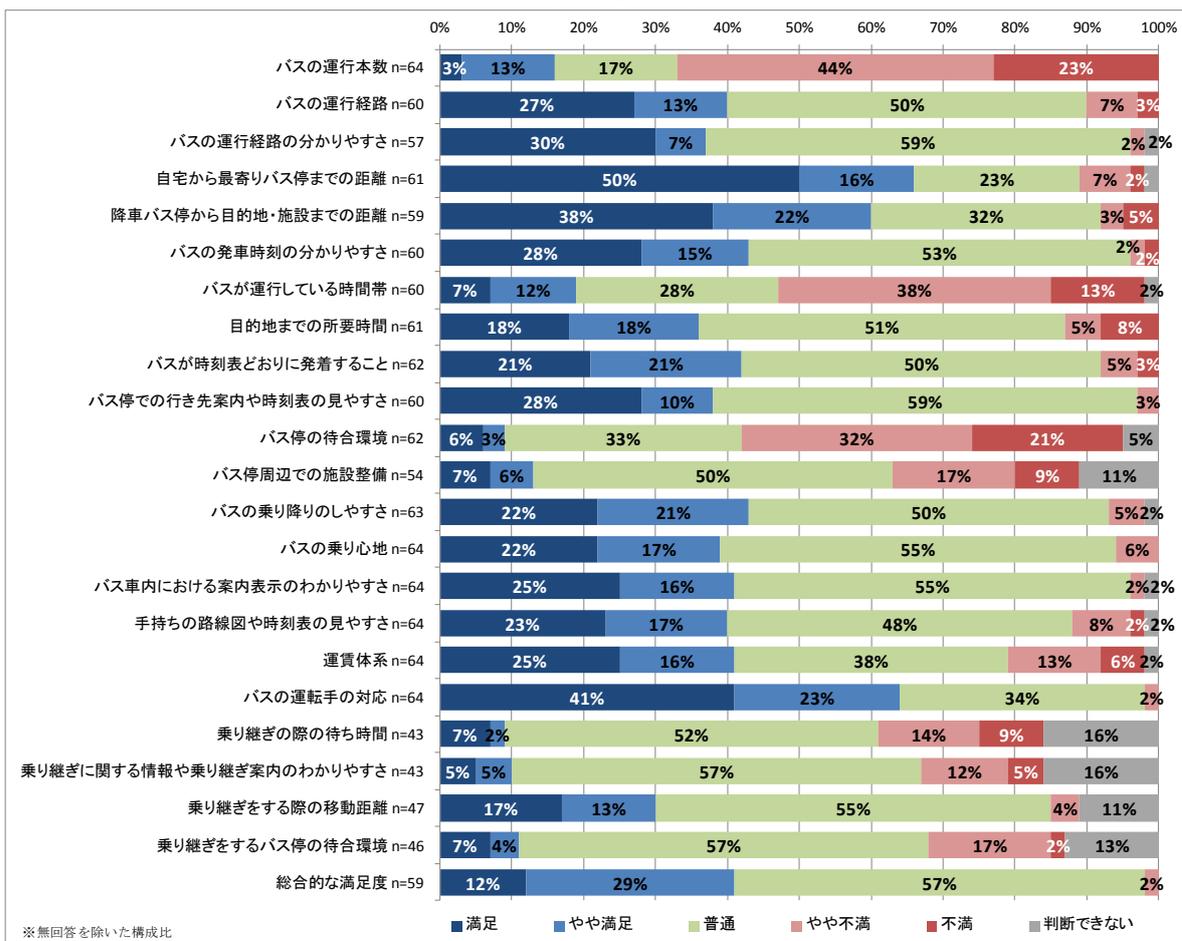
※無回答を除いた構成比

▼千秋ふれあいバス

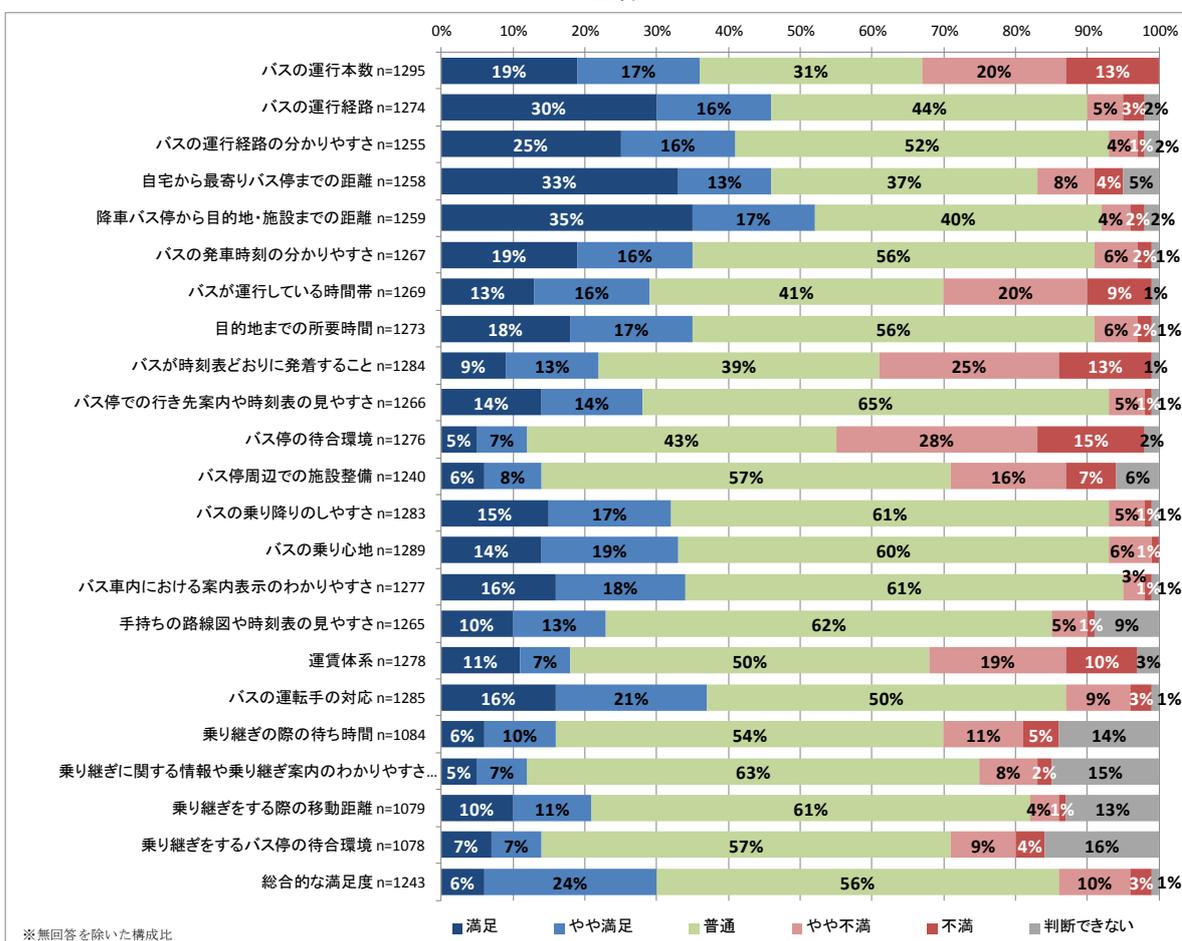


※無回答を除いた構成比

▼生活交通バス計



▼全体



▼「やや不満」「不満」の主な改善内容

* 上表及び以降の路線・コース別の主な改善内容は、原文の内容で掲載している

▼名鉄バス光明時線

	項目	名鉄バス光明時線
バスサービスについて	①バスの運行本数	・1時間21本しかない ・昼間の本数が少ない ・通勤、通学時は増やすべき ・22時台にも運行を
	②バスの運行経路	・光明寺方面から本曾川方面へ行ける距離が短い ・夕方7時以降は総合体育館駐車場を止めて欲しい(不明者なし)
	③バスの運行経路の分かりやすさ	・いつもと違うバスに乗ろうと思った時に、どの乗り場かも分かりにくかった
	④バスの発車時刻の分かりやすさ	・名鉄バスセンターの時刻表をもっと分かりやすくしてほしい ・遅れているのか、行ってしまったのか、わからない場がある
	⑤バスが運行している時間帯	・最終バスの時間を遅延してほしい ・始発バスを早めてほしい ・休日を手日なみにしてほしい
	⑥目的地までの所要時間	・時間がかかりすぎ、定額運賃までほしい ・雨や雪の時は、通勤の車の時間がかかる
	⑦バスが時刻表どおりに発着すること	・定額運賃にきたことがない、いつも遅れており、乗遅に乗り遅れる ・いつも遅れてくる、特に雨の日 ・時刻表通りに発着できなければ本数を増して対応してほしい
	⑧バス停での行き先案内や時刻表の見やすさ	・運賃の表示がされていないバス停があるので、表示してほしい ・次に発車するバスの時刻と行き先を電光掲示板のようで見えるようにしてほしい
	⑨バス停の待合環境	・雨の時が困る。屋根だけでも設置すべき ・ベンチが椅子があるといい
	⑩バス停周辺での施設整備	・自転車置場をつくらしてほしい ・光明寺の距離バスを利用していますが、駐車場がないので作れるならば何とかしてほしい(ローソンさんと話し合ってください)
	⑪バスの乗り降りのしやすさ	・段差が高く、乗り降りが大変、バス中、特に一番前の座席が高すぎる ・降り口が狭い。荷物が多いと通れない。定額のタッチの機械の場所が車両によって左右まちまち(目の不自由な方が困っているのを見た) どちらかに統一した方がよいと思います。
	⑫バスの乗り心地	・降車ボタンがない座席があり、不便である。 ・小型バスは優先座席を置いて、タイヤの上、前列はイスが奥向きに高いなど最悪。
	⑬手持ちの路線図や時刻表の見やすさ	・字が小さくて見えにくい
	乗り継ぎについて	⑭運賃体系
⑮バスの運転手の対応		・人によって対応やアナウンスが聞こえない場がある ・文京で目の不自由な人が乗られます。MANACAの位置が右か左か教えてあげて下さい
⑯乗り継ぎの際の待ち時間		・バス本数が少ないので、乗り継ぎに30分間待たなくならないことがよくある ・名鉄主体の時刻表になっている。JRの発着も考慮してほしい
⑰乗り継ぎに関する情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ		・次に発車するバスの時刻と行き先を電光掲示板のようで見えるようにしてほしい
⑱乗り継ぎをする際の移動距離		・名鉄一言駅の乗り場で待機行列ができることが多くある
総合的な満足度	⑲乗り継ぎをするバス停の待合環境	・ベンチやイスの設置設置してほしい(待ち合い席を作ってほしい)
	⑳総合的な満足度	・運行本数の少なさと運賃の高さでやや不満にしました。 ・運賃が高い割には、運行本数が少なすぎる！！

▼名鉄バス起線

	項目	名鉄バス起線
バスサービスについて	①バスの運行本数	・夜9時以降の本数を増やしてほしい ・朝の本数が少ない ・休日にも本数を増やしてほしい
	②バスの運行経路	・起街道と155号の交差点は避ける事ができないか？ ・起バス停から一宮へ行く場合、木曾川堤防が混み合いバスが遅れる ・濃尾大橋を経由、必要はない。毎朝、渋滞に巻き込まれる ・郷北が近くのバス停だけ、一宮から行くのと遠回りになる ・起線は長年「起街道」を経路としているが、道幅狭く、交通量も多い。一宮駅から真っ直ぐ西へ延びる新しい道路が尾西まで延びており、経路の変更を検討してほしい ・起から一宮駅に向かうのに大まわりする為、時間がかかりかかるし、数年後には起のバス停がなくなるとも聞きましたが、通勤がかなり不便になって困ります ・起線と市民病院方面のバス経路の一本化を図ってほしい ・一宮駅から新栄町が良いが、新栄町から一宮駅へ向かう際、濃尾大橋の方からまわり大変時間がかかる ・濃尾大橋手前の堤防を走行すること。混んでいるため ・木曾川の堤防を通るルートはバスの遅延に大きく影響するので変更してほしい ・大通りを通らず旧道？(うら道)を通っているのはなぜ？ ・堤防線と大垣線の交差点の渋滞 ・起線と市民病院方面のバス経路の一本化を図ってほしい

	項目	名鉄バス記録
バスサービスについて	①バスの運行経路の分かりやすさ	<ul style="list-style-type: none"> -行きと帰の距離が異なるというのがわかりにくい -名鉄バス記録は運送の仕方がわかりにくいので、初めての方が困っているのを見かけます。車内でわかりやすいように表示すると良いですね -経路の幅がわかりにくい
	②自宅から最寄りバス停までの距離	<ul style="list-style-type: none"> -もっと近いバス停が良い -名古屋駅南口行各と中津川の間にもう1箇所バス停が良い -バス停まで自転車で行くが、雨の日などは乗れないので徒歩で行ける距離が良い
	③降車バス停から目的地・施設までの距離	<ul style="list-style-type: none"> -バスからJFまでの距離は遠く感じる -名古屋駅前からバス停までの距離が狭い、お年寄りが歩けるから近くしてほしい -ショップセンター→銀行→郵便局→施設のバス停を考えて下さい
	④バスの発車時刻の分かりやすさ	<ul style="list-style-type: none"> -バス停に停かかの表示が必要 -電光表示で今度は何分発車かすぐ分かる様にするべき
	⑤バスが運行している時間帯	<ul style="list-style-type: none"> -夜間まで運行して欲しい -最寄りバスが早い(21時前まで運行のため) -最寄りすぎず、始発が過ぎず -土日の通勤バスを平日と同じくらいしてほしい
	⑥目的地までの所要時間	<ul style="list-style-type: none"> -交通費が高い -記録は乗降がひどく一時間に書くまで時間がたつ -他の一駅までの所要時間がまちまちで、よくは表示される。特に「スイミングスクール前」→「名鉄一宮」間は信号が多すぎるので、専用レーンをつくるなど発着に配慮するよう工夫してほしい -雨天時に遅れることが多い
	⑦バスが時刻表どおりに発着すること	<ul style="list-style-type: none"> -遅れ時間遅れが多い -遅れて来るし、時刻表が合わないし、本数をもっと増やして客を分散すべき -一宮駅方面へのバスの発着が、全く時刻表でない! -曜日や天候に左右されやすい。一筆では無いのでは? -記録の発着時刻は28の1名駅行きは、いつも遅れている -本数減の朝の早い、夕方は必ず時刻表でない -遅延によりバスが全線遅れているときがある
	⑧バス停での行き先案内や時刻表の見やすさ	<ul style="list-style-type: none"> -次のバスが来る時間が表示されるといい(GPS等で時間を調整する) -時刻表の文字を大きくすると見やすい
	⑨バス停の待合環境	<ul style="list-style-type: none"> -屋根もベンチもないので雨の日には乗る前に濡れてしまう -記のバス停は何も設置されておけません -記録の待合案内を印刷してありますが、乗客が多い朝や夜はベンチや屋根がない(現在、工事なので少し改善しています)
	⑩バス停周辺での施設整備	<ul style="list-style-type: none"> -乗降場がない為、自転車が設置されている時があった -乗降場のないバス停が多量あります -何も設置されてない
	⑪バスの乗り降りのしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> -足の不自由な方が乗る時に、膝に足を上げて乗れる高さにしてほしい -乗降口の幅を広くしてほしい、ステップを低くしてほしい
	⑫バスの乗り心地	<ul style="list-style-type: none"> -急ブレーキをかける運転手が多い -バス内の座席の配置がゆいかなスペースが多く、座席の数が少ない、工夫してほしい -記録は乗客も多く、バスのシートは乗客のベンチシート(宴会や乗客の多い記録は大平がこれ)のシートは必要ではない
	⑬バス車内における案内表示のわかりやすさ	<ul style="list-style-type: none"> -料金表示をもう少し大きくすると乗るからも見やすいと思う -乗降時刻案内の目が細く見にくい設置した方がよい(電車のように)
	⑭手持ちの路線図や時刻表の見やすさ	<ul style="list-style-type: none"> -字を大きくしてほしい -バス停に設置できるカードを置いて欲しい
⑮運賃体系	<ul style="list-style-type: none"> -名鉄バス記録は一言一語で中島までは280円だが、中島を過ぎると330円となり非常に運賃差がある -高いからもう少し安くしてほしい -高い、マナーの悪い乗客が多すぎる 	
⑯バスの運転手の対応	<ul style="list-style-type: none"> -人によって、様々。統一した教育してほしい -アナウンスの音が聞き取れない、はっきりと聞きたい -人により差がある 	
乗り継ぎについて	①乗り継ぎの際の待ち時間	<ul style="list-style-type: none"> -JFとの乗り継ぎが長い -駅からバスへの乗り継ぎの際、待ち時間が長い -夜9時以降の本数を増やしてほしいです。JFからの乗り継ぎをする際、待ち時間が長いです
	②乗り継ぎに関する情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ	<ul style="list-style-type: none"> -情報が少ない -電車の時刻が利用できるようにしてほしい。乗り継ぎ可能な電車の時刻を表示してほしい
	③乗り継ぎをする際の移動距離	<ul style="list-style-type: none"> -駅まで徒歩し、駅まで移動するため、距離が長い -一宮駅で水村までの距離が長い -駅内のバス停での乗り換えはいいが、外のバス停までの乗り換えでは毎日通乗する人にとっては距離が長いと思う
	④乗り継ぎをするバス停の待合環境	<ul style="list-style-type: none"> -ベンチがほとんどない -屋根をつけられ、雨の日や寒風の時間帯も良いと思う
	⑤総合的な満足度	<ul style="list-style-type: none"> -運賃、乗降場の本数の見直し、バスが運送し、何かのトラブルで途中までいかなかった場合の案内が良い -更なる改善を期待します。お年寄りの足となるよう、もっと距離を伸ばしても、最近JFで乗降客のライオン社、とてもいいアイデアだと思いました。もっと良いやすく快適なバスサービスが増えてます

▼名鉄バス—宮川島線

	項目	名鉄バス—宮川島線
バスサービスについて	①バスの運行本数	<ul style="list-style-type: none"> -休日や平日の運行本数が少なすぎる。もっと増やしてほしい -朝晩バスの増強が早過ぎる。せめて午後1時30分過ぎに1本は運行してほしい -21時台-22時台の運行本数を増やしてほしい -一宮→若宮、若宮発22時台2本ではなく3本にしてほしい、朝バスの23時にしてほしい
	②バスの運行経路	<ul style="list-style-type: none"> -小牧から一宮まで、本数は近いのに若宮を迂回しなければいけないことが不満です。小牧から足兼と一本で行けるようにしていただきたい -乗り換えが必要になることがほとんど -その地域の事を知らないとかかりづらい。一般の地図と合わせてほしい
	③バスの運行経路の分かりやすさ	<ul style="list-style-type: none"> -自宅から5分くらいが望ましい
	④自宅から最寄りバス停までの距離	<ul style="list-style-type: none"> -「猿蓑公園」と「瓦見塚」の間バス停がなければ— -病院という場所柄、バス停の位置などもっと改善の余地があるのでは？
	⑤降車バス停から目的地・施設までの距離	<ul style="list-style-type: none"> -いつ来るのかが分かりにくい
	⑥バスの発車時刻の分かりやすさ	<ul style="list-style-type: none"> -朝バスの時刻をもう少し遅い時刻まで振り下げる -休日の最終バスの時刻が早い、もう少し遅く -始発が早い、最終が早い
	⑦バスが運行している時間帯	<ul style="list-style-type: none"> -月曜の時間帯は遅延。かなり遅延超過 -遅延がかかる場合がある
	⑧目的地までの所要時間	<ul style="list-style-type: none"> -7:50~8:10のバスの遅延。雨の日は20分くらい遅れることもある。元小牧は学生の下車が多いため、スムーズにできるようなしてほしい。元小牧→若宮間も、大雨や雪の日は遅延がひどくなる。夕方の時間帯は月曜→隔週一宮間のバスに乗るのですが、遅がても遅いので5~10分は遅れてくるので、リアルタイムに今どこを走っているのかを監視などで知りたい -若宮→隔週一宮は、朝の時間帯(特に雨の日)遅れる。遅延時刻がわかるほしい -始発のバス停にも遅れてくるので、始発のバス停には遅延遅りに来てほしい -10分以上の遅れはダメである
	⑨バスが時刻表どおりに発着すること	<ul style="list-style-type: none"> -時刻表の字を大きく出来たら見やすくなると思います
	⑩バス停での行き先案内や時刻表の見やすさ	<ul style="list-style-type: none"> -遅延もイベントもないのでつけてほしい -雨天対策をしてほしい -水たまりのバス停は利用者が多いので設置されておらず、車の濡りも多く、冬には凍結も発生し、危険を感じる
	⑪バス停の待合環境	<ul style="list-style-type: none"> -駅周辺整備 -駅前歩道があるほしい -どのバス停にも緑地帯がほしい
	⑫バス停周辺での施設整備	<ul style="list-style-type: none"> -駅内の積雪が大きい。イスが倒すほどのことがある
	⑬バスの乗り降りのしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> -遅延手によって、急加速・急ブレーキがある -ノスタックバスは乗客が酔い、乗客が少ない、2人掛けの座を広くしてほしい -遅延遅りがわかりにくい。車内に音が静かすぎてほしい
	⑭バスの乗り心地	<ul style="list-style-type: none"> -車内又は駅周辺において各種警備の増強を望んでほしい -時刻表の字が小さすぎて見にくいです
	⑮バス車内における案内表示のわかりやすさ	<ul style="list-style-type: none"> -バスは遅延は非常に多い -少し高い。名古屋の赤バスの上で一律料金だとわかりやすい -名鉄バス、少し高いのでは？ トヨタバスに比べてマナーは遅延元車も悪い
⑯バス運賃体系	<ul style="list-style-type: none"> -人によって、重要・心遣いの差が大きい。アナウンスの言い方を考えてほしい -遅延手により乗客が怒り、客による評価システムを考えてほしい 	
⑰バスの運転手の対応	<ul style="list-style-type: none"> -乗車とバスの音-発着間-差が大きい -電車との乗り換え時間が長い。いつも電車が遅延に遅く、次を待たなくてはいけいない -名鉄電車を降りて若宮のバス停に行くところを歩いてしまった後だったため、電車との乗り換えが上手くない 	
⑱乗り降ぎの際の待ち時間	<ul style="list-style-type: none"> -乗り降ぎ地点のバス停にはきちんと表示し、主な施設(病院など)は特に見やすく表示する方がよい -乗り降ぎの案内は悪い 	
⑲乗り降ぎに関する情報や乗り降ぎ案内のわかりやすさ	<ul style="list-style-type: none"> -駅の乗降は分けないで一般路にまとめる -隔週一宮間から若宮行きのみ、朝に遅延時 -一宮駅です。ターミナル形式にはできないでしょうか 	
⑳乗り降ぎをする際の移動距離	<ul style="list-style-type: none"> -ごみが落ちていることがあるので、ごみ箱を作ってほしいです -一宮駅の若宮-旭市方面へのバス停がもう少し遅延を助けるようにしてほしい 	
㉑乗り降ぎをするバス停の待合環境	<ul style="list-style-type: none"> -バスを待機することによる利便性をもっと大きくアピールすることが全くダメである。営業所まで -小牧から一宮まで、本数は近いのに若宮を迂回しなければいけないことが不満です。小牧から足兼と一本で行けるようにしていただきたい。それに加え、名鉄バスは他社に比べ、とても高いこと 	
㉒総合的な満足度		

▼ i-バス一宮コース

	項目	i-バス一宮コース
バスサービスについて	①バスの運行本数	-1時間2本くらい運行して欲しい -本数を増やして欲しい -バスは本数・時間帯に多少不便です
	②バスの運行経路	-スポーツ文化センターを避けて欲しい -バスは大通りが多い便利な手段です。福祉バスである様ですが、両脇者は歩道のない道路の狭い箇所も非常に目撃しますので、大きなスーパーとかショッピングへの足に利便性よいので昔地方お馴染み願います
	③バスの運行経路の分かりやすさ	-地図があまりにも離れすぎて、バス停の実際の場所がわかりません
	④自宅から最寄りバス停までの距離	-15分かかります
	⑤降車バス停から目的地・施設までの距離	-長いです。病院に行きたいのに自転車では大変です！！
	⑥バスの発車時刻の分かりやすさ	-10月から毎週時刻表でなくなった。覚えられない
	⑦バスが運行している時間帯	-朝早くと夜がバスにない -悪い時間帯はバスに走って欲しい
	⑧目的地までの所要時間	-乗り遅れがうまくいかないので1時間と30分
	⑨バスが時刻表どおりに発着すること	-いつも10分程度遅れて来る -すぐ遅れてきたと思ったら、定時30秒前後に行ってしまうことがあります。本数が少ないので、まだ来ていないのが行ってしまうのがわかりにくい
	⑩バス停での行き先案内や時刻表の見やすさ	-コトウツで一言市民病院に行きたい客人が時々右向き・左向きを誤って乗ってしまい大変な話を聞いたので特に病院などは、そのバス停から右向き又は左向きのどちらが正しいバス停に表示しておいて欲しい
	⑪バス停の待合環境	-屋根とベンチを設けて欲しい
	⑫バスの乗り降りのしやすさ	-コミュニティバスなのに、ノスタリッパ/リニアフリーでない
	⑬バスの乗り心地	-乗員が遅れていたりすると、運転手の人の意識が乗客にいいじゃない、乗客がとても悪い時がある
	⑭手持ちの路線図や時刻表の見やすさ	-乗降表の字を大きくして欲しい
⑮運賃体系	-若人は必死に練習者など募集に年間バス(有料3000円後)を発行してはどうか	
⑯バスの運転手の対応	-とても対応の良い方ばかりで、そうでない方もいる	
乗り遅れについて	①乗り遅れの際の待ち時間	-i-バスと九日市線行きのバスの乗り遅れ時間がうまく合っていないので遅れて下さい
	②乗り遅れをする際の移動距離	-吉原ではバスと名鉄線バス停があるので乗換距離が長く、乗り遅れに不便
	③乗り遅れをするバス停の待合環境	-屋根とベンチを設けて欲しい
	④総合的な満足度	-運行状況を一般に宣伝してほしい、年々地味なほどは運と一般に異子等にして配布してもらえと市局に要望するのでは？

▼ i-バス尾西北コース

	項目	i-バス尾西北コース
バスサービスについて	①バスの運行本数	-1時間に1本の為、到着時間を合わせるのにコストが高い
	②自宅から最寄りバス停までの距離	-乗降の多いバス停まで、両の乗降と徒歩で30分近くかかってしまふ
	③バス停の待合環境	-狭い道沿いには無理かと思いますがベンチを増やして欲しい(ちなみに尾西北コースを利便性していますが、ゆらゆらのやがた・買物をするチャレンジの側・高野崎等々)
	④バスの乗り心地	-バスブレーキを色々付いた乗客の乗客があまり不便になります
	⑤運賃体系	-乗降になれば200円近くも乗降されるとは思います
⑥バスの運転手の対応	-毎日利便性がありますが、その人の性格もあると思います	
乗り遅れについて	①乗り遅れをするバス停の待合環境	-ベンチが欲しいです

▼ i-バス尾西南コース

	項目	i-バス尾西南コース
バスサ ービス につ いて	①バスの運行本数	・30分に1本あれば嬉しいですが ・休日、昼間が少ない
	②バスの運行経路	・民俗資料館や美術館等を通してほしい
	③バスの運行経路の分かりやすさ	・大きな目印(駅・スーパーなど)があるとバスに乗って行くかとも思いますが、どこにどんなものがあるかわからないので冒険はできません
	⑦バスが運行している時間帯	・始発・終車をもう少しずらしてほしい
	⑨バスが時刻表どおりに発着すること	・時間より早く来たり、時間より遅く来たりと時間がバラバラである！
	⑪バス停の待合環境	・夏・冬・雨天などに屋根・ベンチが欲しい。特に老人の通院に足を患う人が多い
	⑫バス停周辺での施設整備	・有るのはバス停留所のみ！
	⑬手持ちの路線図や時刻表の見やすさ	・手持ちの時刻表の字が小さい
	⑰運賃体系	・A停からB停の距離は近いのに運賃が上がり、C停は大変離れているのに変わらない(特にB駅で降車)
	⑱バスの運転手の対応	・たまに運転が荒い
乗 っ て い き に	⑲乗り継ぎの際の待ち時間	・萩原駅で間に合わない事が有る ・時間帯によっては名鉄バスを利用
	⑳乗り継ぎに関する情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ	・わかりにくい

▼ i-バス木曾川・北方コース

	項目	i-バス木曾川・北方コース
バスサ ービス につ いて	②バスの運行経路	・本曾川・北方線、右・左廻り両方ばかり運行して欲しい
	③目的地までの所要時間	・1時間近くかかるが、バスがあるだけで有難いと思っている
	④バス停周辺での施設整備	・自転車止められる空間が欲しい
	⑤手持ちの路線図や時刻表の見やすさ	・時刻表の字が小さく見にくい。特に本曾川・北方コース字が小さく新地は見にくい、音がはい
乗 っ て い き に	⑥乗り継ぎに関する情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ	・最寄りわかりにくい、聞ければいい
	⑧乗り継ぎをするバス停の待合環境	・ベンチがあるといい

▼ ニコニコふれあいバス

	項目	ニコニコふれあいバス
バスサ ービス につ いて	①バスの運行本数	・毎朝2本と本数が少なくて欲しい ・12時台のバス運行がない事
	②バスの運行経路	・大加茂所への回車では乗客となり、足の悪い者にとってはずらぬことです ・鹿角井の住宅街を走る必要はない
	③バスが運行している時間帯	・朝7時~8時頃まで運行してほしい、12時台が無いので不便 ・始発・朝バスとも12時頃までおかげ欲しい
	④目的地までの所要時間	・回車のため、鹿角井より長い時間になっている
	⑤バス停での行き先案内や時刻表の見やすさ	・バス停表示が見にくい、色が目立たない
	⑥バス停の待合環境	・雨の日の屋根・ベンチ設置希望 ・一々乗降のバス停がわかりにくく、狭い、椅子もない
	⑦バス停周辺での施設整備	・駐輪場はない、でも困ってない
	⑧バスの乗り心地	・座席を大きめにしてほしい
	⑨手持ちの路線図や時刻表の見やすさ	・字が小さくて見にくい
	⑰運賃体系	・バスは100円ですが、ふれあいバスは200円、割引がありません ・「ふれあいバス」と「バス」の運賃が異なる理由が分からない、「ふれあいバス」と「バス」の乗り継ぎ運賃割引制度を導入してほしい
乗 っ て い き に	⑲乗り継ぎの際の待ち時間	・1時間1本しかないので30分くらい待つ時もある ・たまたまふれあいバスに乗り継ぎがーバス利用の場合、乗り方により待ち時間が長くなり、不便を感じている
	⑳乗り継ぎに関する情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ	・乗り継ぎに関する情報・最寄りルート情報があるかどうかは分からない
	㉑乗り継ぎをするバス停の待合環境	・自転車置場の出入口がバス停なので、待っていると邪魔な目で申し渡さない ・屋根やベンチがあるといい

▼千秋ふれあいバス

	項目	千秋ふれあいバス
バスサービスについて	①バスの運行本数	・1時間に1本としてほしい ・1日の本数がもう少し多くしてほしい
	②バスの運行経路	・運行する順番を改めてほしい
	③降車バス停から目的地・施設までの距離	・市民の負担も若干多い
	④バスが運行している時間帯	・主要部の必要の時間帯が少ななので、どうしてかわからない ・午後7時以降は1本運行を望む
	⑤目的地までの所要時間	・多く時間がかかりすぎ
	⑥バスが時刻表どおりに発着すること	・時刻通りに来ない
	⑦バス停の待合環境	・一部バス停に屋根・ベンチがあるといい ・雨降りや日中の日上げがほしい
	⑧バス停周辺での施設整備	・駐輪場はバス利用促進のため欠かさない条件となるでしょう
	⑨バスの乗り降りのしやすさ	・歩道と車道の縁石の勾配下げ(バス停の整備も可)
	⑩手持ちの路線図や時刻表の見やすさ	・字を大きくしてほしい
乗り降ぎについて	①乗り降ぎの際の待ち時間	・乗りたい時間帯にバスがない
	②乗り降ぎをするバス停の待合環境	・屋根がない
	③総合的な満足度	・本数を増やして、施設やコンビニの目の前のバス停がより利用できるようにと思う

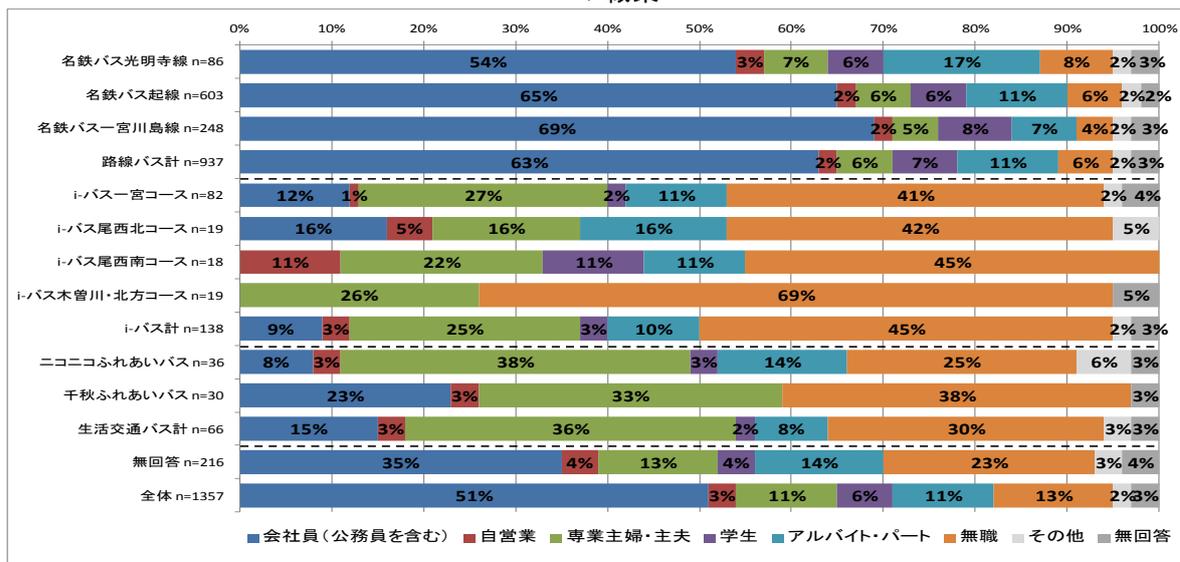
⑬職業について（配布者全員対象）

問13 あなたのご職業をおしえてください。

- | | | |
|----------------|--------------|------------|
| 1. 会社員（公務員を含む） | 2. 自営業 | 3. 専業主婦・主夫 |
| 4. 学生 | 5. アルバイト・パート | 6. 無職 |
| 7. その他（ ） | | |

○名鉄バスでは「会社員」が54～69%を占めている。i-バス及び生活交通バスでは「専業主婦・主夫」及び「無職」を合わせた割合が58～95%を占めている。

▼職業



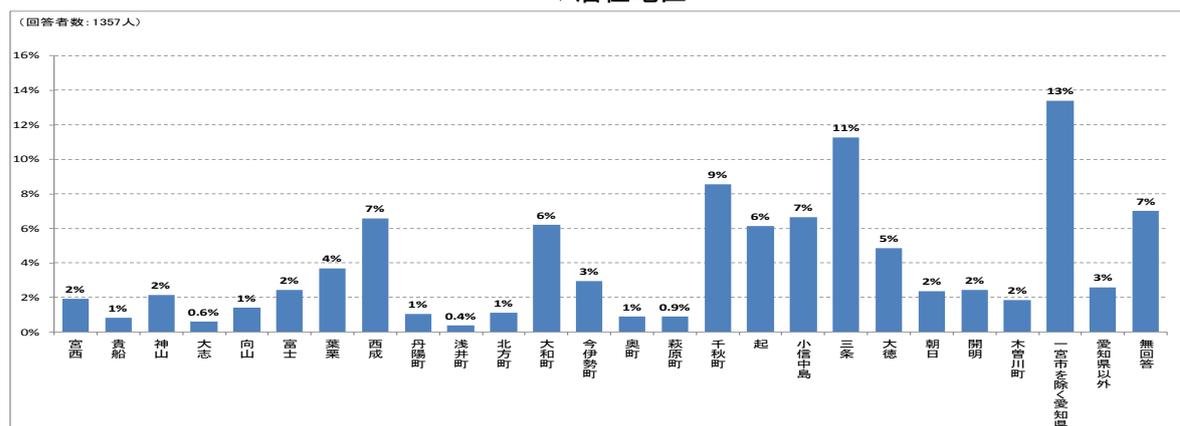
⑭居住地区（連区）について（配布者全員対象）

問14 あなたのお住まいの地区（連区）又は市町村名をおしえてください。

- | | | | | |
|---|---------|----------|--------|---------|
| 1. 宮西 | 2. 貴船 | 3. 神山 | 4. 大志 | 5. 向山 |
| 6. 富士 | 7. 葉栗 | 8. 西成 | 9. 丹陽町 | 10. 浅井町 |
| 11. 北方町 | 12. 大和町 | 13. 今伊勢町 | 14. 奥町 | 15. 萩原町 |
| 16. 千秋町 | 17. 起 | 18. 小信中島 | 19. 三条 | 20. 大徳 |
| 21. 朝日 | 22. 開明 | 23. 木曾川町 | | |
| 24. 地区が分からない方は小学校区をお書き下さい。（ ）小学校区 | | | | |
| 25. 愛知県 _____ 市・町・村 26. _____ 県 _____ 市・町・村 | | | | |

○回答者の居住地は「市内」が77%を占めている。

▼居住地区



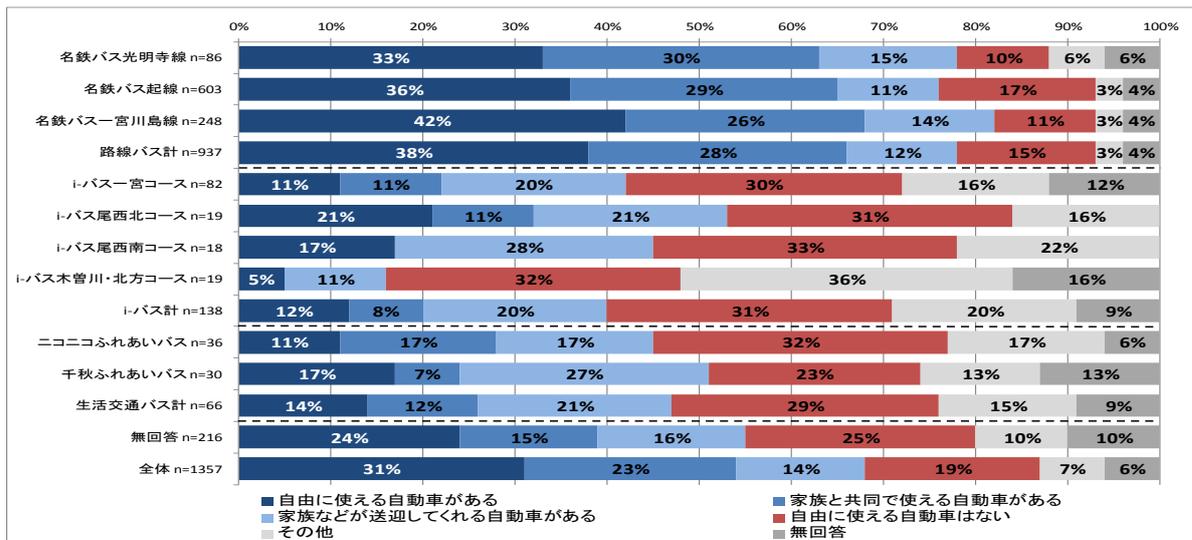
⑮自動車の利用状況について（配布者全員対象）

問15 あなたは自動車を自由に使えますか。

1. 自由に使える自動車がある	2. 家族と共同で使える自動車がある
3. 家族などが送迎してくれる自動車がある	4. 自由に使える自動車はない
5. その他（ ）	

○名鉄バス利用者では「自由に使える自動車がある」、「家族と共同で使える自動車がある」を合わせた割合が63～68%を占めている一方、i-バス及び生活交通バス利用者では「自由に使える自動車はない」が23～33%を占めている。

▼自動車の利用状況



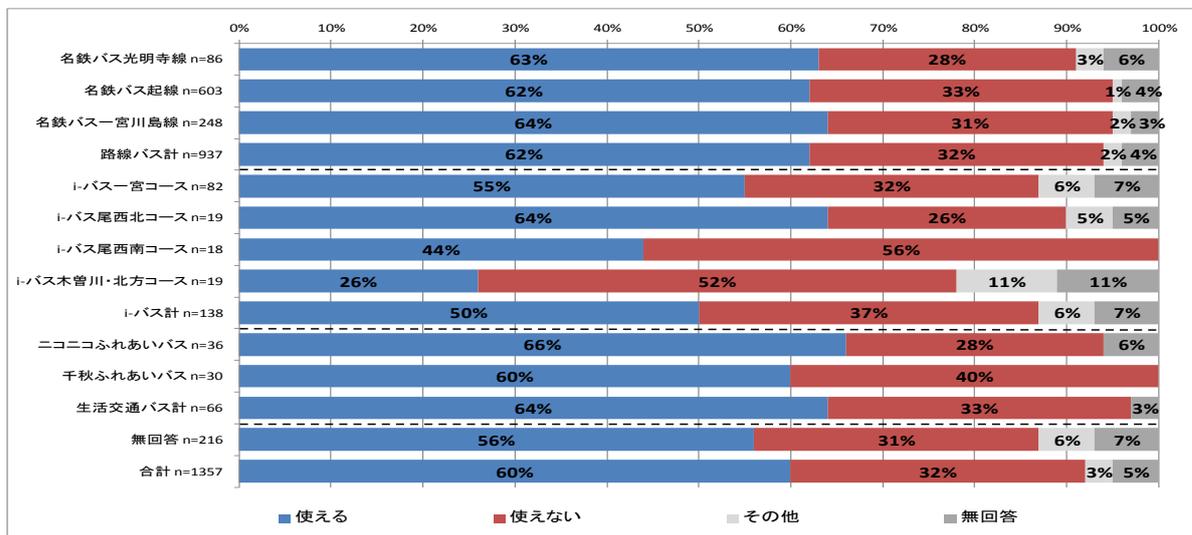
⑯原付・バイク又は自転車の利用状況について

問16 あなたは原付・バイク又は自転車を自由に使えますか。

1. 使える	2. 使えない	3. その他（ ）
--------	---------	-----------

○名鉄バス、i-バス一宮コース、尾西北コース及び生活交通バス利用者では、原付・バイク又は自転車を「使える」が55～66%を占めている一方、i-バス尾西南コース及び木曾川・北方コース利用者では「使えない」が52～56%を占めている。

▼原付・バイク又は自転車の利用状況



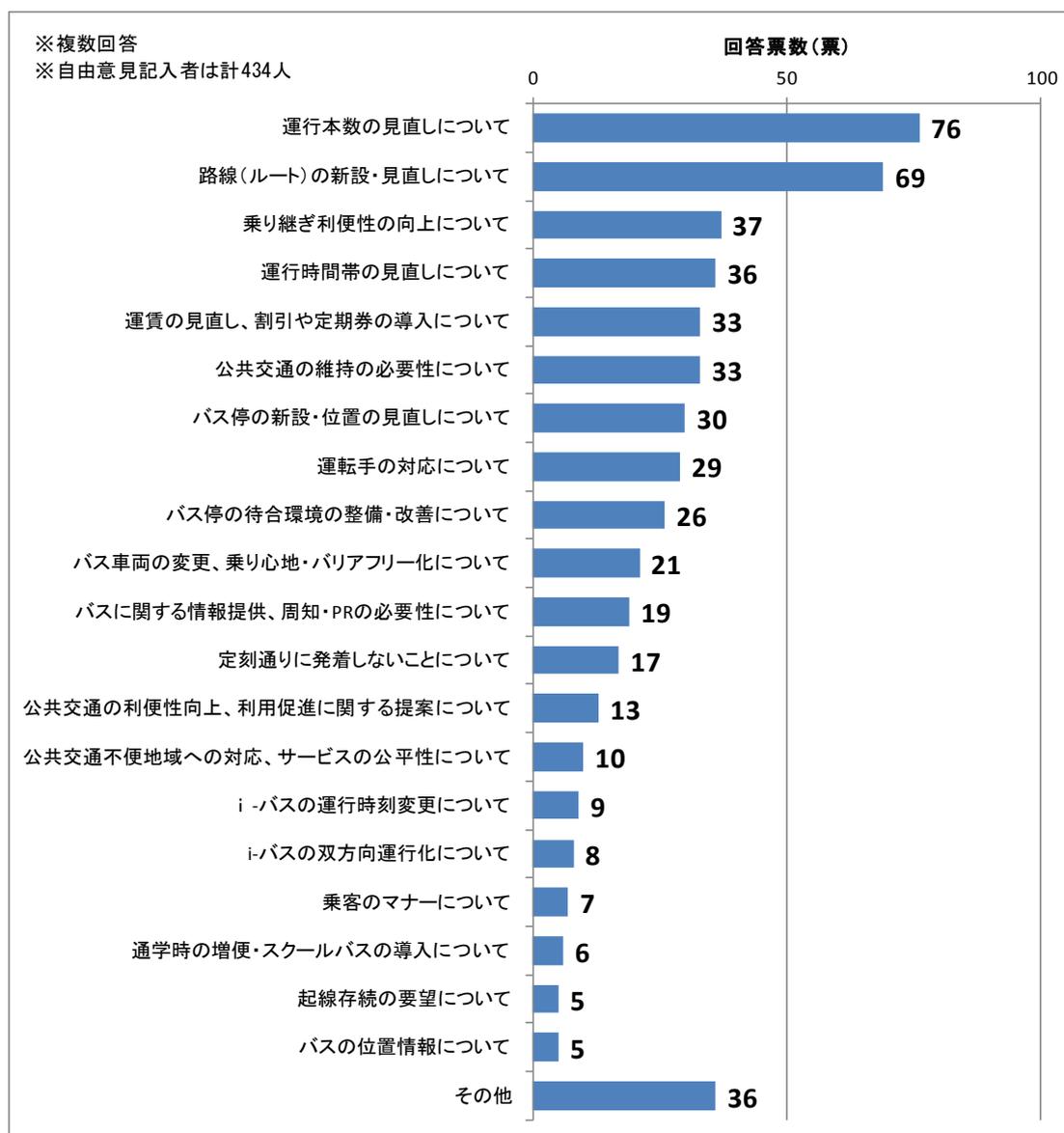
⑰公共交通に関するご意見・ご意向について

問17 路線バス、i-バス及び生活交通バスや公共交通が利用しづらい地域の交通対策など、地域の公共交通に関するご意見、ご意向がありましたら、自由にお書きください。

<自由意見欄>

○自由意見をカテゴリー分類すると、「運行本数の見直し」や「路線の新設・見直し」に関する意見・意向が多い。

▼地域の公共交通に関する自由意見（カテゴリー分類）



3) まとめ

①利用者アンケート結果の概要

- アンケートを受け取った際のバス分類は、「名鉄バス」が70%、「i-バス」が9%、「生活交通バス」が5%と、路線バスの利用が多くなっている。名鉄バス利用者の定期券保有状況は、「通勤定期」29%、「通学定期」4%の計33%となっている。
- バス利用前後の乗り継ぎ有無を見ると、名鉄バス利用者は「乗り継いだ」が75%を占めており、その交通手段は、バス利用の前後で「鉄道利用」が65~94%となっている。その他路線では、i-バス平均で35%、生活交通バス平均で47%が「乗り継いだ」としている。
- バス停までの交通手段は、名鉄バス、i-バス、生活交通バスともに「徒歩」が67~85%と最も多く、次いで「自転車」が3~26%となっており、自宅から利用バス停までの所要時間では、「10分未満」が65~87%を占めている。
- バスの利用頻度は、名鉄バスが「平日も休日もほぼ毎日利用」と「平日はほぼ毎日利用」を合わせた割合が69~75%と高く、「週に1回以上」の利用では87~90%となっている。i-バスでは「週に1回以上」の利用が48~69%、生活交通バスでは「週に1回以上」の利用が67~69%となっている。
- 名鉄バスは「通勤」目的が69~76%を占めている一方、「通学」目的は6~7%に留まっている。i-バス及び生活交通バスは「通院・検診」が19~47%、「買物」が5~23%と自由目的が多くを占めている一方、i-バス尾西北コース及び生活交通バスでは「通勤」目的も19~31%存在している。
- 「通勤」目的による利用を主体とする名鉄バスでは、「買物」35~40%、「飲食・飲酒・娯楽」29~35%も存在している。
- 名鉄バスでは、「行き帰りとも同じバス」が71~87%を占めているが、光明寺線では「他の名鉄バス」が15%存在している。i-バス及び生活交通バスでは、「行き帰りとも同じバス」が52~74%を占めているが、「自動車で家族等の送迎」も9~19%存在している。
- 行き帰りの交通手段が異なる理由は、名鉄バス起線及び一宮川島線では「家族が送迎してくれる」が37~46%と、利用者側の理由によるものが多くを占めている一方、名鉄バス光明寺線、i-バス及び生活交通バスでは「利用したい時間帯にバスが走っていない」が40~66%と、サービス提供側の理由によるものが多く、特に名鉄バス光明寺線でその傾向が高い。
- バスを利用しやすい交通手段とするための効果的な対応策は、名鉄バス、i-バス及び生活交通バスとも、「バス停での待合環境を整備」が26~59%、「バスの利用者に割引券を配布するなど、地域の商業施設と連携」が16~39%を占めている。また、「バス停での情報提供」、「バス車内で乗り継ぎ情報提供」、「主要な施設に路線図・時刻表を設置」、「時刻表や路線図を配布」といった情報・案内の提供に関する回答も多い。
- 路線別に見ると、名鉄バス起線及び一宮川島線では「バス停周辺に駐輪場を整備」が36~38%、i-バス一宮コース及びニコニコふれあいバスでは「バスを利用したまち歩きや史跡探訪の地図を作成」が16~19%を占めているとともに、多くの路線で「車通勤者に対してバス利用を促す」といった回答も多い。

- 名鉄バスの「総合的な満足度」は、起線及び一宮川島線では満足が不満を上回っているものの、光明寺線では不満が満足を上回っている。個別項目では、「降車バス停から目的地・施設までの距離」、「自宅から最寄りバス停までの距離」、「バスの運行経路」の満足度が高い一方、「バスが運行している時間帯」、「バスが時間どおりに発着すること」、「運賃体系」、「バス停の待合環境」の不満が高い。また、特に光明寺線の「バスの運行本数」では満足8%に対して不満81%となっている。
- i-バスの「総合的な満足度」は、路線により数値は異なるものの、全コースで満足が不満を上回っている。個別項目では、「降車バス停から目的地・施設までの距離」、「自宅から最寄りバス停までの距離」、「バス運転手の対応」、「運賃体系」の満足度が高い一方、「バスの運行本数」、「バス停の待合環境」の不満が高い。また、その他の項目として一宮コースの「バスが時間どおりに発着すること」、尾西南コースの「乗り継ぎの際の待ち時間」及び「乗り継ぎをするバス停の待合環境」の不満が高い。
- 生活交通バスの「総合的な満足度」は、千秋ふれあいバスでやや不満が4%存在するのみで、満足とまあ満足を合わせた割合が39～43%となっている。個別項目では、「降車バス停から目的地・施設までの距離」、「自宅から最寄りバス停までの距離」、「バス運転手の対応」の満足度が高い一方、「バスの運行本数」、「バス停の待合環境」の不満が高い。また、その他の項目としてニコニコふれあいバスの「バスが運行している時間帯」、千秋ふれあいバスの「バス停周辺での施設整備」の不満が高い。
- 自動車の利用状況は、名鉄バス利用者では「自由に使える自動車がある」、「家族と共同で使える自動車がある」を合わせた割合が63～68%を占めている一方、i-バス及び生活交通バス利用者では「自由に使える自動車はない」が23～33%を占めている。
- 名鉄バス、i-バス一宮コース、尾西北コース及び生活交通バス利用者では、原付・バイク又は自転車を「使える」が55～66%を占めている一方、i-バス尾西南コース及び木曾川・北方コース利用者では「使えない」が52～56%を占めている。

②利用者アンケート結果からみた利用特性

(1) 名鉄バス

■名鉄バス利用者の6割以上が乗り継ぎ利用

■乗り継ぎに関する「待ち時間」、「情報・案内のわかりやすさ」、「待合環境」の不満が高い

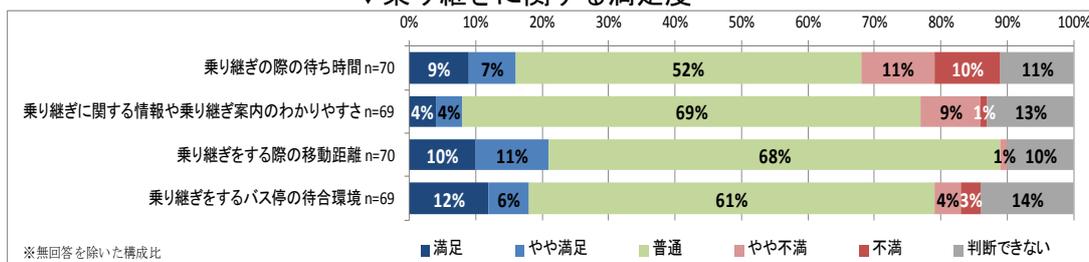
名鉄バス利用者の73～76%が「乗り継ぎ利用」であり、その乗り継ぎ交通手段は「鉄道」がバス利用前で65～86%、バス利用後で85～94%となっている。

しかし、これら名鉄バス利用者の乗り継ぎに関する満足度を見ると、起線では乗り継ぎに関する各項目で満足が不満を上回るものの、光明寺線では「乗り継ぎの際の待ち時間」、「乗り継ぎに関する情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ」に対する不満が高く、一宮川島線でも「乗り継ぎの際の待ち時間」、「乗り継ぎに関する情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ」に加え、「乗り継ぎをするバス停の待合環境」に対する不満が高い。

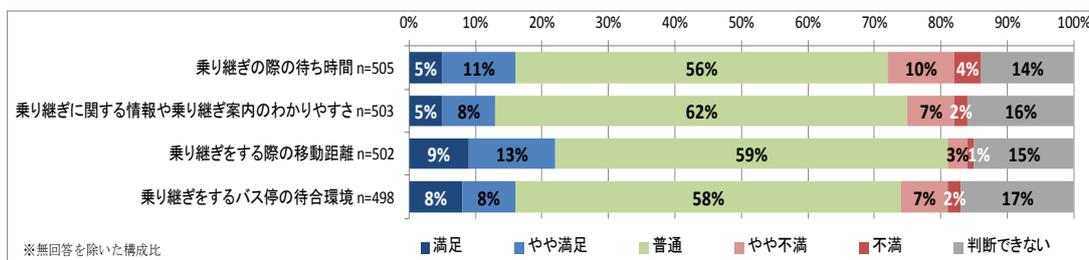
また、名鉄バスと鉄道の運行本数を比較すると、鉄道の運行本数は朝8～13本、夕8～14本に対して、光明寺線では朝1～3本、夕1～2本、一宮川島線では朝4～7本、夕4～6本と鉄道サービス水準を下回っていることから、鉄道から名鉄バスへの乗り継ぎにおいて、待ち時間の発生等による不満が持たれていると考えられる。

▼乗り継ぎに関する満足度

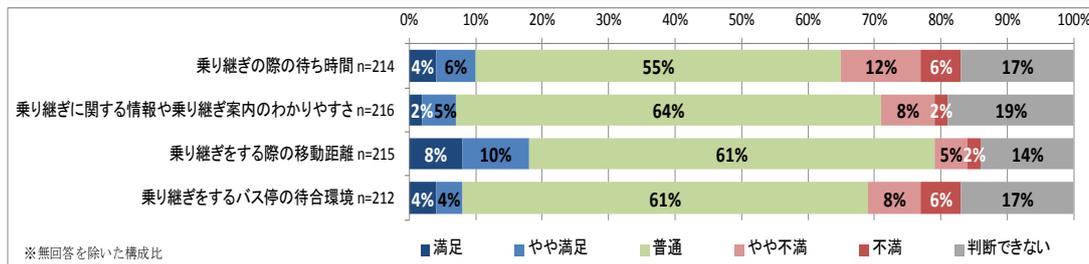
(光明寺線)



(起線)



(一宮川島線)



▼名鉄バスと鉄道の運行本数

路線名	光明寺線		一宮川島線		JR 東海道本線		名鉄名古屋本線	
	⇒一宮駅へ	一宮駅から⇒	⇒一宮駅へ	一宮駅から⇒	名古屋方面	岐阜方面	名古屋方面	岐阜方面
7時台	2本	2本	5本	6本	13本	10本	14本	8本
8時台	3本	1本	7本	4本	13本	8本	13本	10本
9時台	1本	1本	5本	4本	10本	10本	13本	12本
16時台	1本	1本	4本	6本	9本	8本	12本	11本
17時台	1本	1本	6本	6本	10本	8本	12本	10本
18時台	1本	2本	6本	5本	9本	9本	13本	11本
19時台	1本	2本	5本	4本	9本	8本	13本	11本
20時台	—	2本	4本	4本	8本	10本	14本	11本

■利用者の多い起線及び一宮川島線では「バス定時性」と「運賃体系」の不満が高い

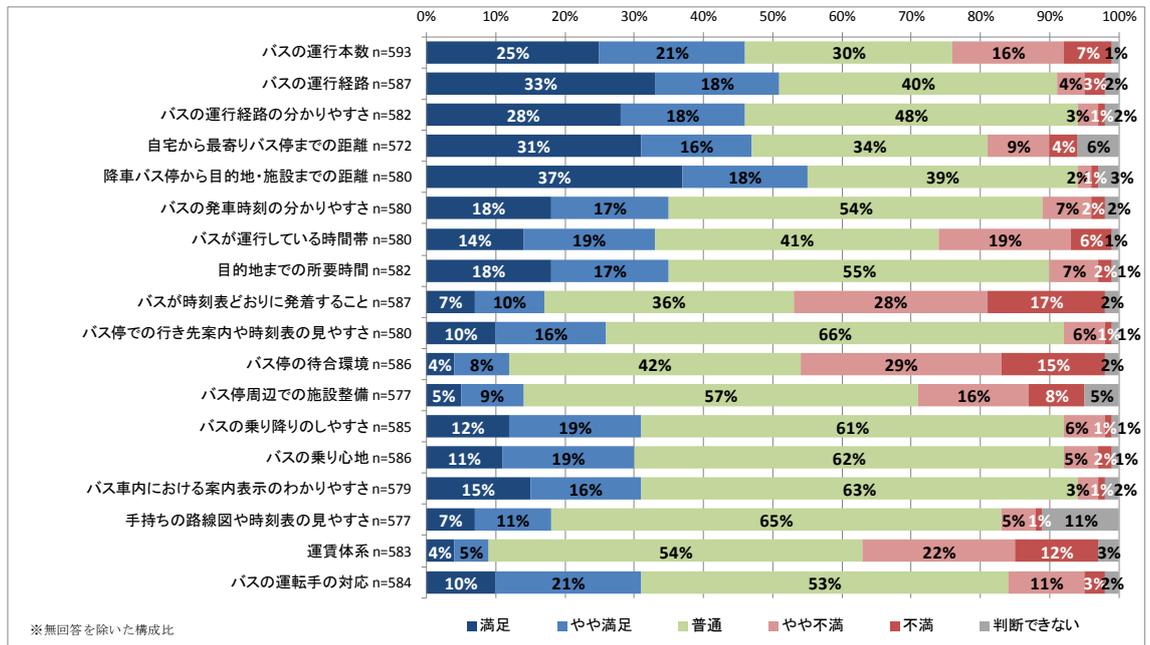
■バス利便性の向上に資する「待合環境・駐輪場の整備」、「情報・案内の提供」が求められている

平成 22 年度における名鉄バスの利用者数は、起線が約 141 万人、一宮川島線が 134 万人と、市内バス路線の中で第 1 位と第 2 位の利用者数が多い路線である。しかし、平成 21 年度と平成 22 年度の利用者数を比較すると、起線が約 8%、一宮川島線が約 6%減少している。

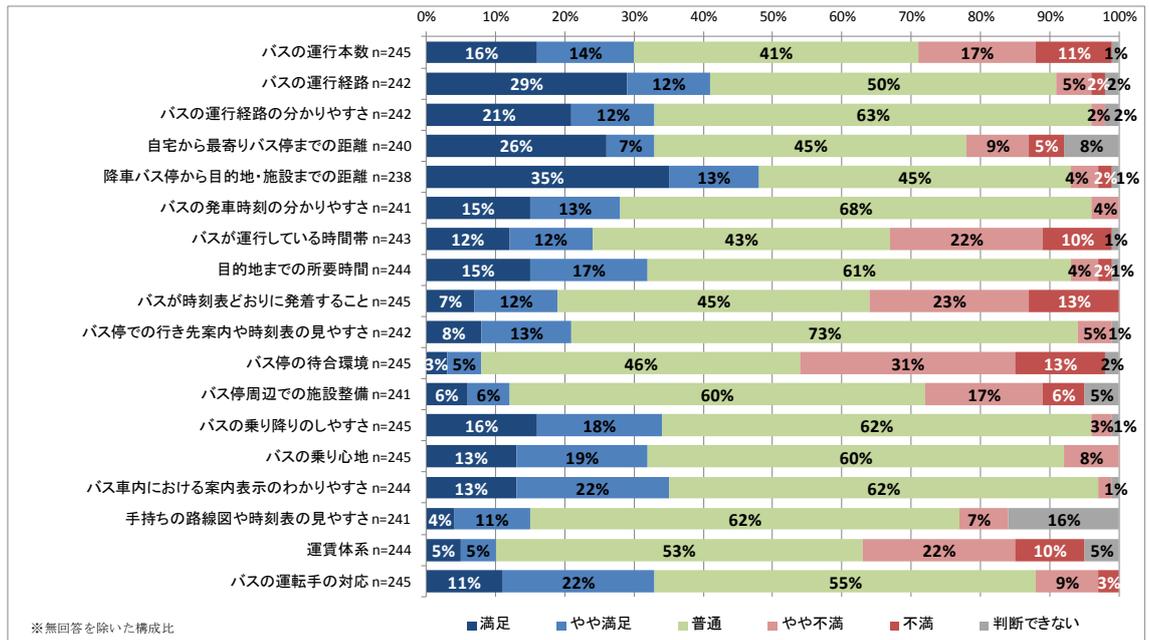
これら起線及び一宮川島線のバスサービスに関する満足度を見ると、「バスが時刻表どおりに発着すること」、「バス停の待合環境」、「運賃体系」の不満が高い。また、バスを利用しやすい交通手段とするための効果的な対応策として、「バス停での待合環境の改善」、「バス停周辺での駐輪場の整備」といったバス停及び周辺での施設整備が挙げられるとともに、「バス停での情報提供」を始めとした運行案内・情報提供に関する対応策が出されている。

▼起線及び一宮川島線のバスサービスに関する満足度

(起線)



(一宮川島線)



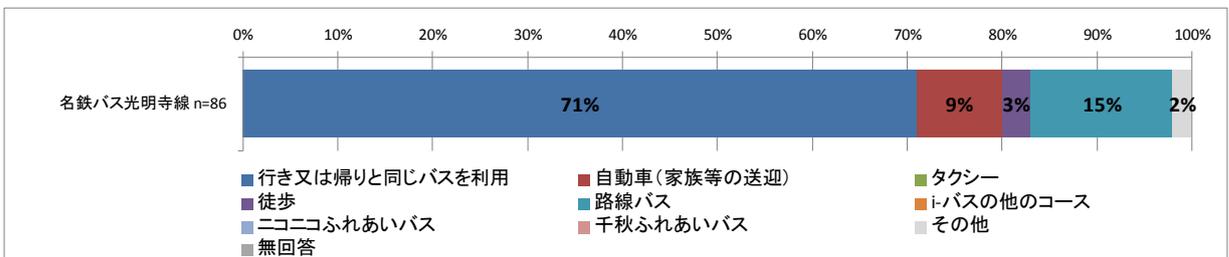
■光明寺線では「運行本数」、「運行時間帯」、「定時性」の不満が高い

光明寺線は、名鉄バスの廃止申し出に対して沿線公共施設（138 タワーパーク、総合体育館等）への移動手段の確保を目的として市補助路線として維持・存続している路線であり、平成18年度以降の利用者の推移は10万人/年～15万人/年の間で増減しつつ、ほぼ横這いの傾向にある。

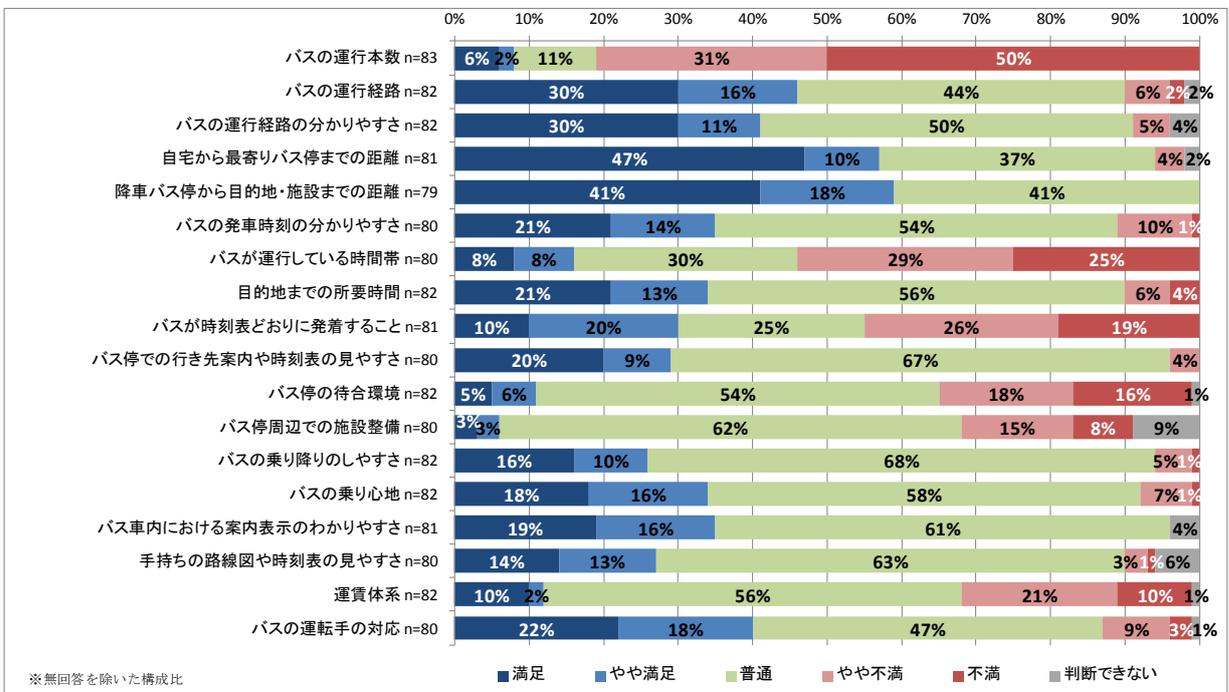
光明寺線利用者の行きと帰りの交通手段を見ると、「行き・帰りとも同じバス」が71%を占めている一方、「他の路線バス」が15%存在している。これは、光明寺線と並走して一宮川島線や一宮宮田線が運行されているためと考えられるが、行きと帰りの路線が異なる理由として「利用したい時間帯にバスが走っていないから」が67%を占めている。

このことを反映し、バスサービスに関する満足度において「バスの運行本数」の満足・まあ満足を含めた割合8%に対して、不満・やや不満を含めた割合は81%と不満が大きく上回るとともに、「バスが運行している時間帯」、「バスが時刻表どおりに発着すること」の不満が高い。

▼行き帰りの交通手段



▼光明寺線のバスサービスに関する満足度



※無回答を除いた構成比

(2) i-バス

■一宮コース、尾西北コースでは「運行本数」の不満が高い

■尾西南コース、木曽川・北方コースでは「バス停の待合環境」の不満が高い

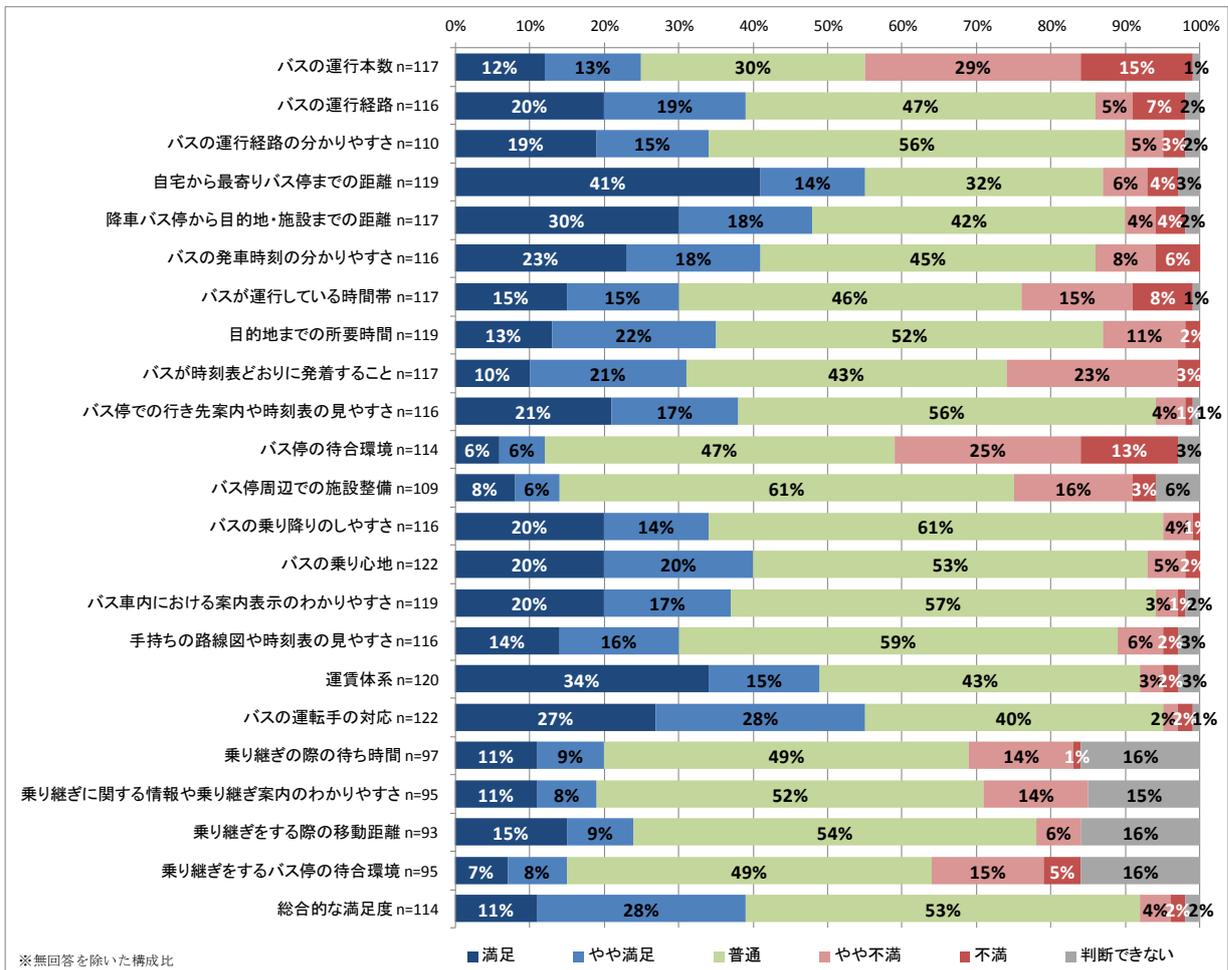
■コースにより異なるi-バス利用者ニーズ

i-バスの利用特性を見ると、主に「自動車を自由に使えない高齢者」が、「通院・検診」及び「買物」目的で「週に2~3回程度」の比較的高頻度の利用者と「月に2~3回程度」のやや利用頻度の低い利用者が存在し、「i-バスのみの利用」で目的地まで移動していることが伺える。

これらi-バス利用者のバスサービスや乗り継ぎ利用に関する満足度を見ると、「バスの運行本数」に対する不満が高いものの、先の名鉄バス光明寺線とは異なり「バス停の待合環境」や乗り継ぎに関する各項目の不満が高く、バスを利用しやすい交通手段とするための効果的な対応策では「バス停での待合環境の改善」、「主要な施設に路線図・時刻表を設置」、「時刻表や路線図の配布」といった不満が高い項目を反映した対応策の実施が求められている。

個別路線で見ると、一宮コース、尾西北コースでは「バスの運行本数」の不満が高く、尾西南コース、木曽川・北方コースでは「バス停の待合環境」の不満が高い。また、一宮コースでは「バスが時刻表どおりに発着すること」、「バスが運行している時間帯」といった名鉄バスと同様の不満項目が挙げられ、尾西南、木曽川・北方コースでは「乗り継ぎの際の待ち時間」、「乗り継ぎをするバス停の待合環境」への不満も高く、コースにより利用者ニーズは異なっている。

▼ i-バスのバスサービス及び乗り継ぎ利用に関する満足度 (i-バス利用者合計)



(3) 生活交通バス

■生活交通バスでは名鉄バス光明寺線と同様、「運行本数」、「運行時間帯」の不満が高い

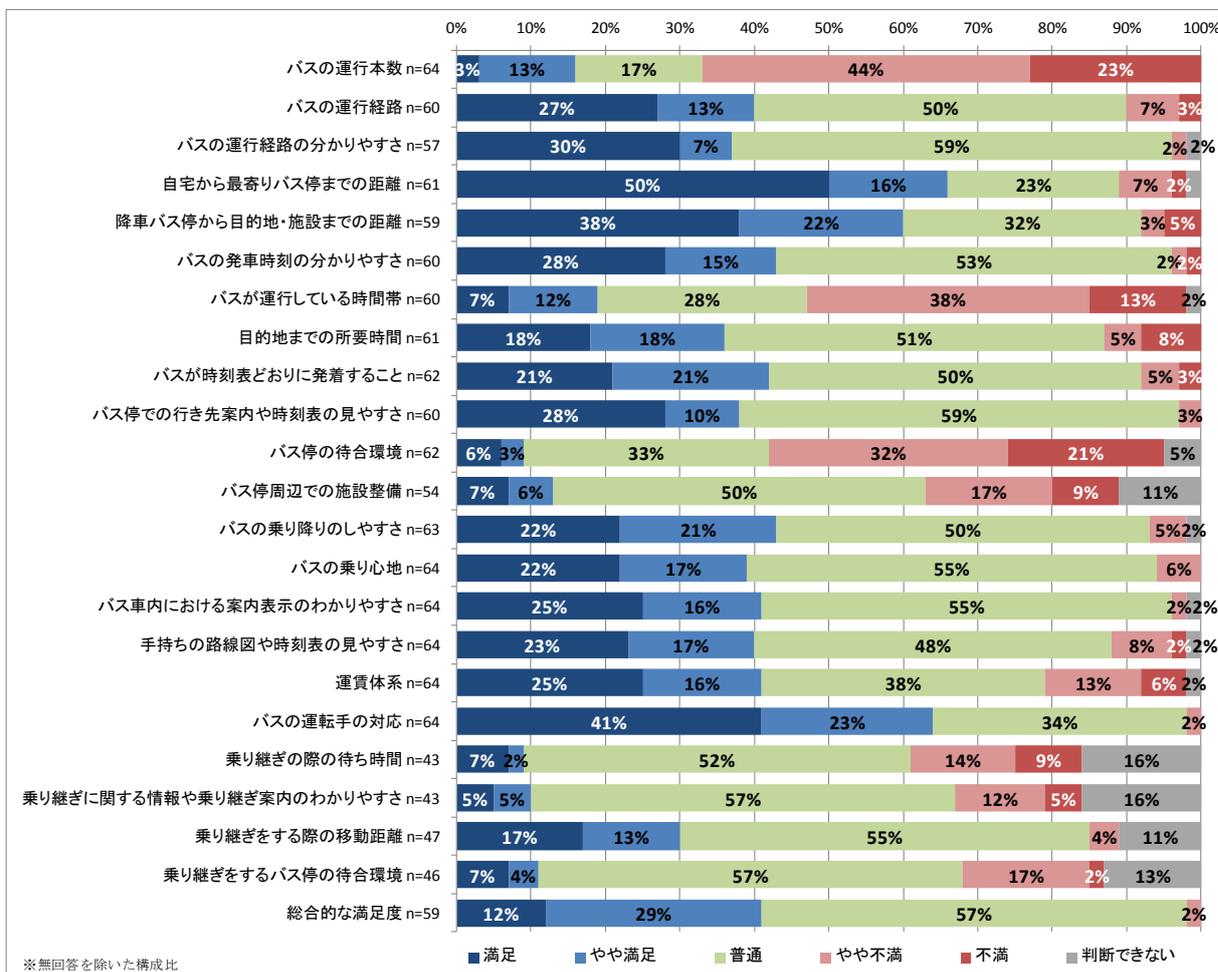
■バス利便性の向上に資する「バス停の待合環境」や「乗り継ぎに関する各項目」の改善が求められている

生活交通バスの利用特性を見ると、年齢層では「65歳以上の高齢者」が約6割、「64歳以下の生産年齢」が約4割で、「通院・検診」及び「買物」といった自由目的が約4～6割を占めつつ、「通勤」目的が約2割存在しており、「週に1回以上」の利用が約7割と比較的利用頻度は高く、「他の交通手段への乗り継ぎ利用」により目的地まで移動している方が約4～5割と半数程度存在していることが伺える。

これら生活交通バス利用者のバスサービス及び乗り継ぎ利用に関する満足度を見ると、名鉄バスと同様、「バスの運行本数」、「バスが運行している時間帯」といったバス運行に関する不満に加え、i-バスの多くのコースで出されている「バス停の待合環境」や乗り継ぎに関する各項目の不満も高い。

個別路線で見ると、ニコニコふれあいバス及び千秋ふれあいバスとも「バスの運行本数」の不満が最も高いが、その他の不満項目では、ニコニコふれあいバスは「バスが運行している時間帯」、「バス停の待合環境」、「乗り継ぎの際の待ち時間」の順となっており、千秋ふれあいバスでは「バス停の待合環境」、「バスが運行している時間帯」、「乗り継ぎの際の待ち時間」の順となっており、コースにより不満の順位が若干異なる結果となっている。

▼生活交通バスのバスサービス及び乗り継ぎ利用に関する満足度（生活交通バス合計）



③利用者アンケート結果からみた課題

■公共交通ネットワーク全体の視点からみた機能の明確化と機能に応じたバスサービス水準の確保

利用者アンケートから、バス利用者の満足度は全路線共通して「バス停の待合環境」の不満が高く、生活交通バスを除く路線で、「バスが時刻表どおりに発着すること」への不満が高くなっている。加えて名鉄バスでは「運賃体系」への不満が高くなっているが、市内バス路線の中で便数・利用者が多い起線、一宮川島線でも「バスの運行本数」や「バスの運行している時間帯」への不満も20%～30%程度あり、さらなる利便性への要望が強い。乗り継ぎに関する項目で、一宮川島線（岩倉駅行）の不満が若干高いのは、バスの乗車位置が名鉄一宮駅バスターミナルではなく、一宮駅東側の路上停留所であるためと考えられる。沿線公共施設への移動手段の確保を目的に市の補助路線として運行する光明寺線では、運行便数が少ないため、「バスの運行本数」、「バスが運行している時間帯」といったサービス水準の向上に関する不満が高くなっている。

公共施設の利便性向上及び高齢者などの社会参加の促進を目的として運行するi-バスでは、コースにより不満項目が異なり、一宮コース、尾西北コースでは「バスの運行本数」や「バスが運行している時間帯」といった名鉄バス光明寺線と同様、サービス水準の向上に関する不満が高く、尾西南コース、木曽川・北方コースでは「乗り継ぎの際の待ち時間」、「乗り継ぎをするバス停の待合環境」といったバス利便性の向上に資する項目の不満が高い。

交通空白地域における廃止代替路線としてi-バスとは料金設定や地域住民の取り組み状況が異なる生活交通バスでは、コースにより不満割合は若干異なるものの、ニコニコふれあいバス及び千秋ふれあいバスとも「バスの運行本数」、「バスが運行している時間帯」といった名鉄バス光明寺線やi-バス一宮コース、尾西北コースと同様の不満項目が高い。

また、利用者の属性を見てみると、i-バス、生活交通バスの利用者の女性の割合と高齢者の割合が高く、自動車の利用に制限のある人の割合も高くなっている。

このように既存のバス種別分類（名鉄バス、i-バス、生活交通バス）で見た場合、運行時間や便数の違いがあるため、名鉄バスとi-バス、生活交通バスとの間には利用者の満足度や利用者の属性に大きな違いが見取れるが、i-バス、生活交通バスでは利用者の満足度や利用者の属性は類似したものとなっている。

このような中で、一宮市のバス交通ネットワークを検討するためには、これら利用者ニーズや利用者の属性を踏まえつつ、鉄道を含む公共交通ネットワーク全体の視点から、既存のバス種別分類に捉われず、それぞれの路線・コースが求められる機能を再検討して確保すべきバスサービス水準を設定し、相互補完の関係の中で利用者にとって利用しやすく、わかりやすいバス交通ネットワークを形成することが重要となる。